

第五十九回帝國議會
衆議院

米穀法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第五回

付託議案
米穀法中改正法律案(政府提出)
米穀需給調節特別會計法中改正法律案
(政府提出)

會議

昭和六年二月十九日(木曜日)午後二時
九分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 西村丹治郎君

理事 長野 綱良君

理事 關矢 孫一君

理事 風見 章君

理事 東郷 實君

理事 胎中楠右衛門君

佐竹 庄七君 高橋壽太郎君

三好榮次郎君 村上 國吉君

宮澤 胤勇君 高橋元四郎君

松田 正一君 田中 養達君

小池 仁郎君 篠田 有徳君

三田村甚三郎君 木村小左衛門君

出井 兵吉君 片野 重脩君

東 武君 平井信四郎君

多木久米次郎君 原 惣兵衛君

石井 次郎君

同月十八日委員田中養達君辭任ニ付其ノ補闕トシテ高橋壽太郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ

同月十九日委員武知勇記君及土屋清三郎君辭任ニ付其ノ補闕トシテ田中養達君及篠田有徳君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣 町田 忠治君
出席政府委員左ノ如シ

農林參與官 山田 道兄君

農林省農務局長 石黒 忠篤君

拓務省殖産局長 殖田 俊吉君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

農林書記官 荷見 安君

農林技師 安藤廣太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

米穀法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

○西村委員長 ソレデハ是ヨリ米穀法中改正法律案外一件ノ委員會ヲ開キマ

ス

○胎中委員 先日執拗ニ申上ゲテ、昨

日生産費ノ我國ニ於ケル見込調ヲ戴キ

マシタノデアリマスガ、之ニ付テ少シ

邁ッテ御伺シタイ、是ハドウ云フ理由デ

私共ガ非常ニ必要ヲ感ジタカト云フコ

トヲ先ヅ先ニ申述ベタイト思ヒマス、

今回ノ改正法ハ、要スルニ今後米穀法

ガ、出動スル場合ニ、其基準價格ヲ定

メルト云フコトデアッテ、サウシテ其基

準價格ハ物價指數、ソレヨリ生シタル

所ノ米價指數、之ニ最小自乘法ヲ以テ

算定シテ、サウシテ所謂率勢米價ト云

フモノヲ作ル、此率勢米價ト、更ニ生

計費竝ニ生産費ヲ調査シテ、之ヲ參酌

シテ、此基準價格ト云フモノヲ定メル、

斯ウ云フコトガ骨子デアリマス、ソコ

デ同僚ノ原君ヨリ屢々率勢米價ニ付テ

ハ質問ヲサレタノデアリマスルシ、尙

ホ其質問ガ繼續致シテ居ルノデアリマ

スガ、同時ニ原君ノ質問ニ對シテ當局

ノ御答ニ依リマスルト云フト、生計費、

生産費ト云フモノハ、是カラ調査スル、

斯ウ云フコトデアリマス、併シ是ニハ

相當ノ歲月ヲ要スルノデアリマスルカ

ラシテ、然ラバ今日マデ米穀法ガ制定

セラレテ、サウシテ米穀法ガ發動シタ

場合ニ於テ、當局ノ所謂輕イ意味デモ

宜シイ、兎ニ角今日マデ過去ニ於テ政

府ガ生産費ノ御調ト云フモノガ出來テ

居ッテ、縱シソレガ確實ナモノデナイト

致シマシテモ、サウシテ之ガ出動ノ場

合ノ米價ヲキメル場合ノ一ツノ要素ニ

ナッテ居ルノデアリマスカラシテ、縱シ

ソレガ極メテ輕イ意味デアリマシテ

モ、米穀法ノ出動ノ場合ニハ、兎ニ角

一瞥ヲ與ヘラレタト云フコトハ、是ハ

事實デアリマス、デアリマスカラシテ、

私共ハ過去ニ於ケル所ノ生産費ノ御調

ヲオ尋シタ所ガ、ソレハアルガ、極メ

テ不確實デアッテ、是ハ參考トシテハ出

セスト、斯ウ云フ御話デアリマシタ、

之ヲ言葉ヲ換ヘテ申シマスルト率勢米

價ト云フモノヲ作ッテ、之ニ生計費竝ニ

生産費ト云フ「ビーナツ」落花生、此

シテ此率勢米價ヲ中心トシテ將來ノ米

穀法ノ出動ノ場合ノ基準價格トシテ滑

カニ之ヲ行ッテ行カウト、斯ウ云フノデ

アリマス、私共ガ要求致シマシタル過

去ノ生産費ト云フモノモ、茲ニ於テ私

共ハ知ル必要ガアル、ソコデ此「ビー

ナツ」ヲ政府ガオ作りニナッテ御用ヒ

ニナッテ居ルト云フカラ、ドウカ之ヲ出

シテ貰ヒタイ、今後ノ生活費竝ニ生産

費デアアル所ノ「ビーナツ」ハ、是カラ土

地ヲ耕シテ植付テ作ルモノデアッテ、是

ニ歲月ヲ要スルカラ、此「ビーナツ」ガ

欲シイ、サウスルト政府ノ方デハ此「ビ

ーナツ」ハ出來ガ惡イ、中味が充實シ

テ居ラス、ダカラシテ是ハ賣品トハナ

ラス、斯ウ云フコトデアリマスカラシ

テ、私共ノ方デハソレヲ諒ト致シマシ

テ、然ラバ非賣品デ宜シイ、決シテ其

「ビーナツ」ガ、中味が充實シテ居ラス

デモ、若シ又長イ間ニ中味が腐ッテ居

一

テモ、ソレニ對スル所ノ責任ヲ政府ニ
オ持タセスルヤウナコトハシナイノデ
アルカラシテ、之ヲ出シテ貫ヒタイト
云フコトヲ御願致シマシテ、此處ニ昨
日得タノデアリマスガ、昨日之ヲ戴イ
テ、昨夜能ク檢討致シテ見マスルト云
フト、私共ハ折角戴イタ「ビーナツ」
ガ良イ惡イハ別トシテ、中味が何モナ
クテ、「ビーナツ」ノ穀ヲ貫ッタクウナ
感ジガ致シタ、ソレハドウ云フ譯カト
申シマスルト、此處ニアリマスル通り
昭和五年産米生産費調、サウシテ括弧
ヲシテ「米穀生産費調査執行案ニ據リ
シモノ」ト云フノデアリマスカラ、是
ハ私共ガ希望要求致シマスル、所謂米
穀法制定後、米穀法發動ノ場合ニ政府
ガ御調ベニナツタ、サウシテソレヲ縱シ
輕イ意味デ一瞥ヲ與ヘタダケデアッテ
モ、用ヒテ居ッタ所ノ是ハ調ト見ルコ
トガ出來ナイ、ソコデ私共ハ斯ウ云フ
疑ヲ持ツ、政府ノ方デ非常ニ過去ニ於
ケル所ノ生産費ノ御提出ヲ嫌ヒニナ
ル、非常ニ拒マレル様子ガアッタノデ、
豫テ私共ガ間イテ居リマスルコトヲ想
像致シマシテ、或ハ若シ此過去ニ於ケ
ル所ノ生産費ト云フモノヲ正直ニ御出
シニナルト云フト、今日非常ナ暴落ヲ
シテ居ル現在ノ米價ト、政府ガ過去ニ
於テ調ベタ生産費トノ間ニ非常ナ開キ
ガアッテ、サウシテ如何ニモ現在ノ穀物
ヲ作ッテ居ル所ノ農民ガ、非常ニ窮迫シ
テ居ルト云フ狀態ヲ、如何ニモ強ク明
カニスルト云フ御懸念ガ一ツアリハセ
スカト云フコト、今一ツハ現在オ出シ
ニナッテ居リマスル所ノ所謂率勢米價、
此率勢米價ト、過去ニ於ケル所ノ生産費
トノ間ニ甚ダ差違ヲ生ズルト云フコト
ガ、何ダカ政府ノ方デ今回オ出シニナ
テ居ル率勢米價ノ上ニ影響ヲ齎ラスモ
ノトノ御考ニ依ッテ拒マレルノデハナイ
カト云フ私共ハ考ヲ持ツ、其疑ヲ持ツ、
私共ハ斯ウ云フ風ニ實ハ御相談ヲ申上
ゲテ見タイトモ思ッテ居ル、ト云フコト
ハ此法案ト云フモノハ、極メテ重要ナ
コトハ申上ゲルマデモアリマセス、私
共ハ此問題ニ付テハ、眞劍ニ色々調査
研究ヲシテ、疑ヲ晴ラシテ、ドウカ滑カ
ニ一日モ早ク一般農民ノ爲ニモ、又消
費者ノ爲ニモ、ドウトカ之ヲ決定シタ
イト云フ考デ居リマスル時ニ、サウ云
フヤウナ疑ヲ私共委員ニ懷カシムルト
云フヤウナコトガアッテハ、又吾々議員
トシテサウ云フ疑ヲ持ッテ此審議ニ臨
ムト云フコトハ、今後此重要法案ノ審
議ニ當リマシテ支障ノ生ズルト云フコ
トヲ私ハ恐レルノデアリマス、デアリ
マスルカラシテ若シ私ニサウ云フ疑ガ
假ニアリマスルトシテモ、當局ハ屢、御
辯明ニナリマスル通り、決シテ責任ノ
アルモノデナイ、確實ナモノデナイト
云フコトハ私モ諒承致シテ居リマスル
カラシテ、寧ロ明ラサマニ過去ニ於テ
ハ斯ウ云フ風ナ生産ニ對スル見積リヲ
シテ居ッタト云フヤウナコトヲ、私ハ極
ク率直ニ、御示シテ願ヒタイト云フコ
トガ先ヅ第一デアリマス

○町田國務大臣 今ノ胎中君ノオ尋ハ
御尤モト存ジマス、併シ當局トシテハ
何等此率勢米價、御審議ヲ願フ中ノ主
ナル要項ノ一ツハ、率勢米價ノ問題デ、
相當議論ノアル問題デアリマス、之ニ
對スル從來農林省ガ不完全ナガラモ、
達觀ノ材料トシテ居ラヌノハ遺憾ダト云フ
此處デ出シテ居ラヌノハ遺憾ダト云フ
コトハ御尤モト思ヒマス、唯此處デ御
諒解ヲ得テ置キタイノハ、從來ノ生産
費ノ調ベ方ハ、大體御承知ノ方モ御出
デノヤウデアリマスガ、農林省ノ役人
ガ農家ニ參リマシテ、聽取ッテ書キ記シ
タノガ、從來ノ生産費調ベト云フ、甚
ダ完全ナラザル方法デヤッタノデアリ
マス、昨日差上ゲマシタノハ、マダ無
論完全デハアリマセスガ、此度御協賛
ヲ願フ爲ニ提案ヲ致シテ居リマスル、
生産費ヲ調ベル要件ヲ基礎トシテ、ソ
レニ書入レサセタモノヲ基礎トシテ初
メテ出來タノデアリマス、不完全ナガ
ラ、初メテ出來マシタノハ、今度ノ生
産費取調ベノ要件ヲ具備シタノハ、昨
日差上ゲタノデアリマス、併シ從來カ
ラアリマスモノハ、聽取リニ依ッテ出來
タ生産費デアリマシテ、昨日差上ゲマ
シタノヨリモ、更ニ不完全ノ程度ガ多
イモノト思ヒマスカラ、何等カノ御參
考ニナラウト思ヒマシテ、差上ゲタダ
ケニ止マルノデアリマスガ、世間カラ
誤解サレル虞レガアルカラト云フ、御
注意ヲ加ヘタ御希望ノ點ハ、今農務局
長ハ居リマセスガ、從來致シマシタ聽
取書ニ依ッテ出來タ生産費モ、早速御廻
シスルコトハ勿論致シマス

○胎中委員 今ノ御話ニ依リマシテ、
聽テ私ノ希望ガ容レラレルコト、思ヒ
マスルガ、此處デ一言申シテ置カナ
ト、色々ナ誤解ガアリハセヌカト思フ
コトハ、今マデ農林大臣ノ仰シヤリマ
シタ通り、昨日戴キマシタルモノガ先
ヅ比較的正シイ、當ッタモノト考ヘテ居
ル譯デ、無論是ハ正確ナモノデハナイ
ガ、比較的ニ宜イ、斯ウ云フ今ノ御話
デアル、若シ是ガ最初ヨリサウ云フ御
言葉ヲ以テ出サレタノナラバ、先ニ申
シマスルヤウナ疑ヲ私共ハ懷カナカ
タ、私共ガ屢、御願シ、甚ダ申シニク
イ程、強要シタヤウナ形デ御願ヒラシ
タ結果、是ガ突如トシテ昨日生レテ來
タ所ニ、何ダカ今度ノ率勢米價ハ、ドウ
カ斯ウカ辻褄ノ合フヤウナ風ニ作ッ
テ出サレタモノデハナイカト云フ疑ヲ持
ツノデアリマス、無論之ニ依ッテ見マシ

テモ、私共ハ相當伺ッテ見タイコトモアリマスルケレドモ、是ハ細カク互リマスルカラシテ、他ノ同僚若クハ他ノ機會ニ讓ルト致シマシテ、ソコデ的確ナリトハ言ヘヌケレドモ、比較的マア正シイト御示シニナリマシタル此表ノ計數ニ依ッテ見マシテ、サウシテ更ニ備考トサレテ居リマスル「段當リ生活費ヲ段當リ收量ニテ除シタルモノガ石當リ生産費ト符合セザルハ各項目毎ニ全農家ノ部分ヲ集計シタルモノヲ四捨五入法ニ依リテ平均シタルガ爲デアル」ト斯ウ云フコトヲ書加ヘテアリマスルガ、然ラバ此御示シニナッタ計數表ハ、何ヲ根據トシテ御作リニナッタカ之ヲ御伺ヒ致シタイ

○町田國務大臣 之ヲ作リマシタル主任ノ方ニ計數ノ點ハ答辯ヲサセマス

○西村委員 ソレデハ政府委員以外ノ方デゴザイマスケレドモ、皆様ノ御贊成ヲ得テ答辯ヲ願フコトニ致シマス

「結構デス」ト呼フ者アリ

○荷見農林書記官 昨日御手許ニ差上ゲマシタ昭和五年ノ産米ノ生産費調べ備考ノ所ノ御質問ノヤウニ考ヘマシタガ、是ハ此處ノ備考ニ書キマシタルハ少シ言葉ガ足ラナカッタカモ知レマセヌガ、大體各農家毎ニ帳簿ヲ配付致シマシテ、サウシテ其帳簿ニ收量ナリ、其外種子代、肥料代ト云フヤウナ、此

處ニ掲ゲマシタ項目ヲ皆記入サセマシテ報告ヲ得マシタノデ、其各農家毎ニ段當リノ收量、生産費ト云フモノヲ出シマシタルデアリマス、ソレデソレヲ各農家毎ニ出來マシタノヲ、更ニ集メテ之ヲ農家戸數デ割リマシタ爲ニ、例ヘバ種子代ト云フモノヲ全部ズツト此甲ノ農家、乙丙ト、ズツト集計シマシタモノヲ、後デ割リマシタノトハ幾分違ヒマスト云フコトダケヲ注意ニ書キマシタノデ、之ヲ各農家毎デナク、全部ノ種子代ナラ種子代ト云フモノヲ縦ニ寄セマシテ、ソレヲ割リマシタモノデ出シマス、平均價格ガ三錢位違フト云フヤウナ話デゴザイマス、併シソレハ、是マデ各農家毎ニ出シテ、更ニ集計シタルデアリマスカラ、便宜今マデ出來テ居ルノデヤッタラ、ドウカト云フノデ致シマシタルガ此備考ノ點デアリマス

○胎中委員 備考ノ點ニ付テハ、今ノ御話デ大體分ッタヤウニ思ヒマス、併シ此計數自體ガドウ云フ基礎ニ依ッテ出來タカト云フコトヲ御聽キシマシタニ對シテ、今各農家ニ聞合セテ、サウシテ報告ヲ得タ、斯ウ仰シヤイマシタガ、サウスルト今マデノ是ヨリズツト以前、即チ私共ガ要求スル生産費ノ調ト、ソレガ聽取ニ依ッテ作ッタモノデアルト云フノトドウ云フ相違ガアルカ、ソレカ

ラ尙又今仰セラレマシタ調査ニナッタ農家ノ戸數ハドノ位ノ數デアリマスカ

○荷見農林書記官 只今ノハ申落シマシタガ、ソレハ此括弧内ニ書イテアリマスヤウニ、先程御手許ニ配付致シマシタ米穀生産費調査實行案ト申シテ居リマスガ、アノ實行案ニ書イテアリマスヤウナ要項ニ基キマシテ、記入ノ帳簿ヲ作リマシテ、其帳簿ニ毎日々々進行ノ程度ニ從ッテ書入レサセマシタルデゴザイマス、其書入サセマシタルモノ、縣廳ヲ經テ農林省ノ方ヘ集メマシテ、ソレカラ其帳面ニ依ッテ計算ヲシタルデゴザイマシテ、是マデ大正十一年以來調査シテ居リマスノハ、吾々ノ方ノ米穀課ノ方ノ役人ガ地方ニ出マシテ、サウシテドノ農家ニ付テ聽クカト云フコトヲ選擇シマシテ、其農家ニ就キマシテ、例ヘバ收穫ハ幾ラアッタカ、肥料ハ幾ラ掛ッテ居ルカト云フコトヲ聽キマシテ、此方デ書留メテ參ッタ所謂聽取調査デゴザイマス、今度ノ分ハ帳面ヲ配リマシテ、其帳面ニ書カセマシタルノデ、其元帳ガゴザイマスカラ百姓ニ一々當ッテ見マシテモ、元ト書イタル通リノコトハ、向フデモ分リマスシ此方デモ分ルヤウニナッテ居リマスカラ、ソレダケ正確ノ度ガ強イモノト考ヘテ居リマス、尙ホ今度此集計ニ載ッテ居リマスル農家ノ戸數ハ二十六戸モゴザイ

マシテ、十三縣ニ互ッテ調査致シマシ

○胎中委員 十三縣ニ互ッテ二十六戸ノ農家ニ就テ調査ヲナサレタト云フコトデアリマスガ、先程農林大臣ハ、何レ農務局長ガ見エラレルカラ其時ニ御話ヲシテ私ノ希望モ容レラレルト云フコトデアリマスカラ何レ後ニ御尋スルトシテ此場合質問ヲ打切りマス

○西村委員長 一寸皆様ニ御諮リヲ致シマスガ、原君ノ昨日ノ率勢米價ノコトニ付テハ、専門ノ人ニ出テ貰ッテ説明ヲサセルト云フ昨日ノ當局者ノ御話デアリマシタ、只今其専門ノ方ガ見エテ居リマスルカラ、此際其御話ヲ御聽キニナリマスガ、或ハ大臣ノ御都合デ、大臣ガ御出デニナレバ大臣ニ御質問シテモ宜シウゴザイマスガ、ドチラニ致シマセウカ

○原委員 率勢ヲヤッタ肝腎ノ新井サント云フ人ガ、農務局長ノ御話デハ御病氣ダサウデスガ、肝腎ノ率勢ヲヤッタ人ニ説明ヲサセタラ宜イト思ヒマス

○町田國務大臣 原サンノ御希望モアリマスガ、是ハ新井ト云フ技師一人デナク、農林省ノ他ノ技師モ共同シテヤッタノデアリマスルシ、殊ニ安藤博士ハ數年來此問題ヲ共ニ研究シテ下サッタノデアリマスカラ、他ヲ差繰リシテ安藤博士ノ御出席ヲ願ッタルデアリマシ

テ、或ハ新井博士以上ニ御諒解ガ得ラ
レルノデヤナイカト思ヒマス、一應御
質問下サツテ、若シ御不滿デアリマシタ
ラバ、又新井博士ヲ呼ブトシテ……
○原委員 ソレデハ一應聽クダケ聽キ
マセウ

○西村委員長 ソレデハ政府委員デヤ
アリマセウケレドモ、安藤サンノ御説
明ヲ求メルコトニ致シマス

○安藤農林技師 ソレデハ申上ゲマス
ガ、米價ノ趨勢値ヲ直線ニ認メタト云
フコトノ理由ト申シマス、其事ノ説
明ヲセヨト云フ命令デアリマシタガ、
ソレデ宜シイノデアリマス

○西村委員長 サウデス

○安藤農林技師 ソレデハ簡單ニ申シ
マス、總テ米價率ニ限ラズ、私共ガ始
終取扱ッテ居リマス色々ナ既往ノ統計
的ノ數字ニ就キマシテ、其所謂趨勢値、
或ハ傾向ガドウ云フ風ニナッテ居ルカ
ト云フコトヲ見マスルト、御承知ノ通
リ米價率ノ表ノ如ク多クノ場合波ヲ
打ッテ居ルノデアルガ、其波ニハ色々ナ
其場合ニ於ケル事情ガ入ッテ居ル、例ヘ
バ米價デ申シマスレバ、米ノ豐凶ト云
フ事情ガ入ッテ居リマス、一見シテ見マ
スト、ドウ云フ傾向デ行ッテ居ルカ、或
ハ上ッテ居ルカ下ッテ居ルカト云フコト
ヲ見ルノニ困難ヲスルノデアリマスル
ガ、其傾向、或ハ趨勢値ト云フモノヲ

見出ス目的ハ、是等ノ色々ナ事情、其
年々ニ依ル特別ノ事情ヲ皆取除ケテシ
マッテ——除外スルト言フト或ハ語弊
ガアルカモ知レマセウガ、無論サウ云
フモノモ中ニ入リマスケレドモ、ソレ
ハ其傾向ノ中カラ全部取除ケテ、豐年
ト凶年ヲ相殺シテシマヒマシテ、サウ
云フモノ、關係ヲ取除ケテ、ドンナ風
ニ上ッテ居ルカ、或ハ下ッテ居ルカト云
フコトヲキメルノガ、吾々ノ常ニ取扱ッ
テ居ルヤリ方デアリマス、ソレヲ致シ
マスノニハ、先ヅドウ云フ傾向ニアル
カト云フコトヲ考ヘルノガ一番大事デ
アリマス、是ガ他ノ學問ノ事柄デアリ
マス、斯ウ云フ風ナ波ヲ畫イテ居リ
マシテモ、學問ノ方ノ研究ノ基礎デ、
ソレハドウ云フ關係デアルベキ筈デア
ルト云フ理論ガ、成立ッテ居リマス
カ、其理論ニ依ッテ計算ガ出來ルノデ
アリマスガ、此米價率ノヤウナモノハ、
或ハ各種ノ統計ノヤウナモノニナリマ
スト、其處ニハキリシタ傾向、或ハ趨
勢値ヲ調ベル理論ガナイノデアリマ
ス、私共ハサウ云フ言葉ヲ使ッテ居リ
マスガ、所謂實驗的範式ト言ヒマス、
實驗的カラ見タ「フオーミュラー」ヲ作
ルコトニナッテ居リマス、サウ云フコト
デアリマスカラ、其範式ヲ作ルニハ、
其趨勢ガ直線ニ近イモノデアルカ、或
ハ曲線デアルカト云フ、色々ナ見方ガ

アルコトハ當然デアル、是ハ學問的研
究デアリマスケレドモ、サウ云フ學理
ニ基イタ式ガナクテ、他ノ式ヲ出シテ
ヤッタ人モ幾ラモアリマス、此米價率
ノ場合ハソレト同ジデアリマシテ、見
様ニ依ッテ色々ナ式ガ出來得ルト云フ
コトハ否メナイ、然ラバ其色々ナ式ガ
アルトスレバ、何故直線ヲ採ッタカト
云フコトデアリマスガ、私共ハ是等ニ
付テ今マデ色々ノ式ヲ自分ノ實驗カラ
考ヘテヤッテ見タコトモゴザイマス、例
ヘバ其數字ヲ得ルニハ、或ハ色々ナヤ
リ方モアリマセウガ、極ク簡單ニ申シ
マス、例ヘバ三十四年カラ昭和五年
マデ、五年毎ニ平均ヲ取ッテ見マス、
ソコニ六ツノ線ヲ得マス、其線ヲ連ネ
マス、ヤハリ米價率ハ、昨年ノ米價
率程ハ大キクハナイノデアリマスガ、
或ル波ヲ打ッテ居リマス、又同ジヤウニ
七年ノ平均ヲ取ッテ見マシテモ、波ヲ
打ッテ居リマスガ、若シ其場合ニ、其間
ニ或ル線ヲ引キマス、其上下カラ、其
線ノ多イ方少イ方ヲ差引イテ見マスレ
バ、差引零ニナル線ガ引ケスコトハナ
イ、ソレカラ三十四年カラ三ツ探リマ
スト、三十四年カラ四十三年マデノ平
均ガ——私ハ一トセバ、百ヲ掛ケタ方
ガ數字ノ取扱ニ便利デアリマスカラ、
サウ云フ取扱ヲシテ居ルノデアリマス
ガ、一〇四・三ニナリマス、四十四年カ

ラ大正九年、詰リ第二回ノ十年ノ平均
ハ一〇九ニナル、大正十年カラ昭和五
年ハ一一八・四ト云フヤウナ數字ニナ
リマシテ、若シ此三點ヲ列ネテ見マス
ルト、少シ直線ヨリモ高イト言ヒマス
カ、多少複利的ナ、直線ト考ヘルヨリ
モ上ニ上ッテ傾向ヲ以テ居リマス、即チ
初メノ十年ト、第二回ノ十年ノ差ハ四・
七デアリマスガ、其真中ト最後トノ差
ハ約九・四デアリマシテ、倍ニナッテ居
リマスカラ、同ジ率デ上ッテ居ナイカ
ラ、直線的デナイトモ考ヘラレルノデ
アリマス、併ナガラ五年、七年ナドノ
波ノ動キ方ヲ見、又四十四年カラ、大
正九年ノ實際ノ米價率ノ模様ヲ見マス
ルト、此折ハ申スマデモナク、御承知
ノ如ク、歐羅巴戰爭ノ結果、物價ガ非
常ニ騰貴シタ時代デアリマスカラシ
テ、物價ノ騰貴スルニ從ッテ米價ガ同
ジデアレバ、米價率ハ下ッテ來テ居ル
ノデアリマス、幾ラカ下ッテ來テ居ル
ヤウニモ考ヘラレルノデアリマス、又
最後ノ大正十年以後ニ於キマシテハ、
物價ガ低落シテ居ルノデゴザイマス
カ、ソレニ依ッテ計算サレタ米價率ハ、
幾ラカ高クナッテ居ルト云フコトモ考
ヘ得ラレルノデアリマス、ソレデソレ
等ノ點ヲ考ヘマシテ、無論此趨勢値ヲ
出スノニ色々ナ線ガ引キ得ル、又實驗
的範式ハ、是ハ數學ノ事ヲ申上ゲマス

ルト、恐縮デアリマスルガ、數學ノ方
カラ申シマシテモ、是ハ人々任意ニ出
來得ルモノデアリマシテ、澤山ナ式ガ
出來得ルノデアリマス、併ナガラ其式ノ
中デ最モ便利デアリ、且ツ最モ實際此
三十年ノ間ニ於テ線ヲ引イテ見テモ、
一番差ノ少イ、正鵠ヲ得テ居ルモノハ
ドレデアルカト云フコトヲ考ヘマスル
ニハ、先ツ自分ノ考ヘタ、色々ナ式ニ
依ッテ計算ヲシテ見ルト云フコトガ、一
ツノ式ヲ定メル吾々が始終取ッテ居ル
方法デアリマス、或ハ場合ニ依リマス
レバ、モット多クノ式モ出來マセウケ
レドモ、先ツ吾々が普通取扱ッテ居リ
マス所デハ、多クノ數學者ガ統計ナド
ニ取リマスル場合ニハ直線ニスル、或
ハ上ニ上ッテ居レバ複利算のニ考ヘル、
又ハ其外ノ式ヲ考ヘルト云フノデ、大
體自分デ見當ヲ付ケテ計算ヲスルノデ
アリマスガ、其意味デ私共ノ計算ヲシ
タノデハ、例ノ複利算のニ考ヘテ計算
ヲシマスノト、ソレカラ直線ニ計算ヲ
シマスノト實際ニ於テハエライ違ヒハ
アリマセヌ、併ナガラ複利算のニ勘定
スルヨリモ、直線のニヤッタ方ガ實際ノ
實物トノ上下ノ開キ、即チ差違ガ幾ラ
カ少イヤウニ私共ハ見ルノデアリマス、
ソレカラ第二ニソレ等ノ點ニ付キマシ
テ考ヘテ見マスルト、直線のニ取ルト
云フコトガ、複利算のニ取ルヨリモ或

ハ宜イノデハナイカ、實際ニ近イモノ
デハナイカ、ソレカラ次ニハ斯ウ云フ
ヤウナ米穀法ニ使ハレルモノト致シマ
シテハ、出來ルダケ此式ガ簡單デ、非
常ニ複雑ナモノデアリマシテハ分リニ
ク、又同時ニ複雑ナ式ヲ使ヒマスレ
バ、其結果非常ニ計算ニ勞力ヲ要スル
ノミナラズ、誤算ノ虞ガ屢アルノデ
アリマス、出來ルダケ斯ウ云フ場合ニ
ハ、事情ノ許ス限リ簡單明瞭ト云フコ
トモ亦一ツノ理由ニナルノデハナイカ
ト思フノデアリマス、サウ云フヤウナ
意味カラ、一ツハ複利算のニ勘定シタ
ノト、直線のニ勘定シタノト違ヒカ
ラ見テ直線のニ勘定シタノト各年ニ比
較シテ見ルト云フト、差ガ幾ラカ少イ、
複利算ヨリモマダ少イト云フコトガ一
ツノ理由、モウ一ツノ理由ハ此線ガ簡
單デアルト云フコトガ第二ノ理由ニナ
ルノデアリマス、又第三ニ考ヘマスレ
バ、複利算のニ勘定シマスノト云フト、
年數モ既ニ三十年モ經ッテ居ル、此年數
ガ多クナレバナル程、複利ノ方ノ數ガ
上ニ上ッテ行クト云フコトハ、無論利
率ニ關係シマスケレドモ、サウ云フコ
トニナツテ、實際ノ上カラ考ヘテ見テ
モ、直線のナモノト考ヘルノト、複利
のニ考ヘルノト殆ド違ヒガナク、違ヒ
ガナイ場合ニ於テハ、複利ヲ採ルト云
フコトハドウデアラウカト云フコトモ

考ヘナケレバナラヌノデアリマス、サ
ウ云フ意味ニ於キマシテ、結局認定ト
云フコトニナルノデアリマスガ、是ハ
如何ナル方ガ爲サレテモ、其式ヲ自分
ノ最モ適シテ居ルモノト認定スルヨ
リ、趨勢或ハ傾向、所謂理論のノ根據
ノナイ場合ガ幾ラモアルノデアリマ
ス、學問的ノ研究デナイ場合ニ於キマ
シテハ已ムヲ得ナイ、ソレヨリ外ニ方
法ガナイト思フノデアリマシテ、ソレ
ニ依ッテ此線ヲ直線のト認メルノガ適
當デアラウト云フ風ニ考ヘタノデアリ
マス、ソレデ直線のニ考ヘラレタノハ
既ニ御承知ノ通り、若シ此米價率ヲ置
カウトシマスノト云フト、年々約〇・五
餘リヅ、殖エテ行ッテ居ルコトニナツ
テ居リマスルガ、私ガ複利のニ勘定シマ
シタノハ、私ハ極ク略算デアリマシテ、
數字ヲ細カクヤッタノデアリマセヌ
ケレドモ、其利息ノ割合ガ約千分ノ五
位ノ利率デ此三十年間殖エテ來テ居ル
ト云フ風ニ私ハ計算ヲ前ニシタノデア
リマス、ソレデアルカラ、ソレ等ノ點
デ考ヘテ見マスノト、此複利ニシマシテ
モ、實際ハ千分ノ五位ノ利率デアルト
云フト、直線ト餘リ變ラナイト云フコ
トモ言ヒ得ルト思フノデアリマス、ソ
レデ此米價率ヲ直線デ取ッタト云フ所
ニ何カ理論のノ根據ガアルカト云フコ
トハ、是ハ先刻申上ゲマシタ通り、誰ガ

ヤリマシテモ、理論的ノ根據ハナイ、色
色ノ式ヲヤッテ、最モソレニ適スルモノ
ヲ採ル、其最モ適スルモノヲ採ルノニ
ドウシタカト云フ御尋モアルカモ知レ
マセヌガ、是ハ御通知ノ通り、最小二
乘法ニ依ッテ其式ヲ定メルノデアリマ
ス、色々ノ式ヲ一々作ッテ見テ、ソレデ
計算ヲシテ見マシテ、其誤差ガ最モ少
イモノガ一番能ク合フノダト、斯ウ吾
吾ハ始終判斷シテ居リマス、其意味カ
ラ申シマシテモ、此直線ニ認定シタト
云フコトガ、外ノモノヨリモ——尙ホ
此外ニアルカモ知レマセヌガ、最モ簡
單デ、而モ實際色々ナ計算ヲスル場合
ニ於キマシテモ、誤算ノ少イ直線のニ
採ルト云フコトガ適當デアラウト私ハ
考ヘタノデアリマス、或ハ申シ様ガ惡
クテ御分リニナラヌカモ知レマセヌガ、
尙ホ御質問ガゴザイマスレバ御答ヲ致
シタイト思ヒマス

○原委員 只今安藤博士ノ御説明ヲ得
タノデアリマスガ、實ハ昨日東郷委員
カラ申上ゲタノハ、多年ノ御經驗ニ依
ル所ノ米價率ヲ御出シニナルト云フコ
トノ、ソレガ爲メノ御説明ヲ、私ガ專
門家ヲ要求シタノデアリナイノデアリマ
ス、昨日ノハ最小二乘法デヤル、一定
ノ傾向ニ進ム一直線デアルト云フコト
ハ専門的ニドウカト云フ、其本當ノ數
學上ノ説明ガ果シテ當ヲ得テ居ルヤ否

ヤト云フコトヲ昨日御伺ヒ致シタノデアリマス、今ノ御話ニ依ッテ御經驗ノ結果結論トシテハ、實際政治ノ上ニ、此米穀法ノ適用ノ上ニ於テ、此程度デ先ヅ可ナリデアルト云フ御説明ナノデアリマシテ、實ハ昨日私等ノ専門家ト言ッタノハ數學ノ専門家ト云フ意味デアッタ、其點ガ非常ニ違ヒマス、御説明トシテハ私ハ洵ニ結構デアルトシテ一應御聽申シテ居ルノデアリマスガ、専門的數學家ノ、線ト云フコトニ對シテ、數學的ノ御説明ヲ願フト云フコトデアッタノデアリマス

○山田政府委員 甚ダ差出ガマシイコトデゴザイマスガ、安藤君ハ物理數學ニ堪能ナ方デアリマシテ、物理ノ教授ヲヤッテ居ラレマス、今ノハ數學的ノ説明デアリマシテ、私共ハ高等數學ヲ知リマセスカラ、私共ハ取次グコトハ出來マセスカラ、ドウカ左様御承知ヲ願ヒマス

○原委員 ソコヲ私ハ爭フノデアアリマセスガ、序デニ私ハ御尋シテ置キマス、米價率ノコトハ安藤サンニ御尋スルノデアリマスガ、米價率トシテノ趨勢値ヲ見出スノガ、實際問題トシテハ、數學的ノ根據ハ別ト致シマシテ、是ガ適當デアルト思フ、斯様ナ御説明デアリマスガ、米價率ノ基礎ニナッタ、ソレマデ御出シニナッタ、米穀ニ關シテ非常

ニ御造詣ノ深イ安藤サンデゴザイマスカラ、米價率ノ趨勢値ヲ出スノハ、ソレノ數學ヲ用ヒラレタノハ先ヅ宜イト致シマシテモ、少クトモ物價指數ヲ根據トシテ出シタ、米價指數ハ、果シテ是ハ適當ナモノト思召ニナッテ居リマスカ、併セテ之ヲ伺ッテ置キマス

○安藤農林技師 今ノ御説明ハ、私ノ命ゼラレタ少シ範圍外デアリマシテ困ルノデアリマスガ、私ハ斯ウ考ヘテ居リマス、ソレハ物價指數ヲ本トシテ、米價指數ヲ出シタト云フコトハ、私個人トシテハ無論適當ダト思ッテ居リマス、ト云フノハ斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、少シ餘談ニナッテ恐入リマスガ、一體物價ト米價トノ間ニドウ云フ關係ガアルカト云フコトハ申上グルマデモナイノデアリマス、物價ハ——米價ガ上レバ續イテ物價ガ上ルト云フコトハ、今マデノ實例ニ依ルノデアリマスガ、若シソレ等ノ點ニ付テ、萬一御質問デモアッタナラバ——相關關係ハ、吾々始終統計ノ上ニ使ッテ居ルノデアリマシテ、實際ノ場合ニ多ク使ハレルノデアリマスガ、或ハ文字ガ御分リニナラヌカモ知レマセスケレドモ——相關ト云フコトデ、始終物價指數ト米價指數ノ間ノ互ノ關係ハドウナッテ居ルカト云フコトハ、一ツノ計算法ガアルノデアリマス、其計算法ニ依ッテ計算ヲシテ見

マスト云フト可ナリ高イ關係ガアル、此相關ハ統計ノ方ニ始終ヤカマシク言フノデアリマスガ、相關ノ計數ハドウカト云フト、一ト云フモノハ相關計數ノ最大ナルモノデアリマス、即チ原因結果ニナルノデアリマシテ、相關ノ程度ヲ越シテ、原因結果ニナル場合ニ於キマシテハ、相關ト云フモノガ一デアアル、尙ホ同時ニ今日ノ相關ノ數字ノ計算ヲシマス時ニハ、總テ其間ニハ直線的ニ關係ガアルト云フコトデ、統計學上ニ定メラレテ吾々ハ使ッテ居リマス、相關ノ計數ハ何時デモ直線的ノモノニ考ヘテ居ル、從テ相關ガ一デアルトスレバ、假ニ四角ノモノトシテ對角線ニナル此場合、下ノ一方ニ甲ノ區別ヲ置キ、縱ノ一方ニ乙ノ區別ヲ置キ、ソレガ四十五度ニナレバ、對角線ノ方向ガ何レデアッテモ兩者ノ關係ハ原因結果ニナルノダト云フコトヲ一般ニ統計學上デハ定メラレテ居ルノデアリマス、ソレデ相關ノ數ガ一ニナルト云フコトハ、兩者ノ關係ハ原因結果デ論ハアリマセスガ、非常ニ率ノ高イ時ニハ此關係ガ原因結果ニ近イノデアアル、即チ非常ニ其間ノ關係ガ密接デアルト云フノデアリマシテ、私共ノ計算シタ上デハ無論米價指數ト物價指數ノ相關ハ「ブラス」○九八九ト云フヤウナ非常ニ高イ、殆ド原因結果ト認ムベキヤウナ相

關數ヲ得テ居ルノデアリマス、此點ガ私ハ米價率ト云フモノヲ出ス上ニ於テ大ナル意味ヲ持ッテ居ルノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、極端ナコトヲ申上ゲルヤウデアリマスケレドモ、若シ物價ガ假ニ固定シテ、動力ナイデ、米價獨リ動イテ居ルト云フ折ナラバ、米價ノ指數ヲ假ニ百ト見テ居ルナラバ、ソレデ物價指數ヲ割リマシテモ、其處ニ出タ米價率ト云フモノハ米價指數ニ外ナラスノデアリマス、所ガ物價指數ト同ジャウニ米價指數ガ動イテ居ルノデアリマスカラ、其場合ニ於キマシテハ、米價ト物價トハ非常ニ關係ガアッテ、米價率ヲ物價デ割ッタモト云フモノ、範圍内ニ於キマシテ、米價ガ如何ニ動イテ居ルカト云フコトガ分ルノデアリマスカラ、私ハ米價率ト云フモノヲ出シタト云フコトハ、寧ロ當然ダト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、唯是ハ私一箇ノ意見デアリマスカラ、左様御諒承ヲ願ヒタイ

○原委員 何かドウモ巧ク胡麻化サレタヤウデアリマスガ、全然私ハ承服ガ出來ナイ、第一統計學者ハ、日本ノ物價指數ノ算定方法ノ出シ方ハ、單純ナ算出ノ平均法デ出サレテ、ソレガ適當ナ物價指數デアアル、統計學上一番理想的ナモノダト云フコトヲ言ウテ居ルノ

デアリマス

○安藤農林技師 其問題ニ付テハ御答

致兼ネルノデアリマスガ、是ハ餘談デアリマシテ、胡麻化シタト仰セラレテハ困ルノデアリマスガ、サウ云フ意思ハ少シモナイノデアリマス、唯利用サレル所ノ、發表サレタ數字ヲ以テヤルト云フコトヨリ外ニ方法ハナイノデアリマス、例ヘバ今物價指數ノ御話ガアリマシタガ、成程物價指數ハ、五十六七點ノ平均ヲ取ッテ居ルノデアリマスカラ、其中ニハ煙草モ入ッテ居ル、專賣品モ入ッテ居ルト云フヤウナ非難ハ幾ラモアリマセウガ、信賴スベキモノニ何ヲ採ルカト言ヘバ、日本銀行ノ出サレタモノヲ採ルヨリ外ハナイノデアリマス、米價ノ問題ニ付テモ同ジヤウナコトガ多クアルノデアリマス、兎ニ角其信用スベキ場所カラ出タ數字ヲ吾々が取扱フヨリ外ニヤリ様ガナイノデアリマスカラ、今ノ物價指數ノ問題ニ付テハ色々御議論モアリマセウシ、又經濟學者ニモ異論ガアラウト思ヒマスガ、私ハ其專門學者デアリマセヌカラソレニ付テ何モ申上ゲルコトハ出來ナイノデアリマス、唯私ハ現レタ數字ヲ取ッテヤルヨリ仕方ガナイ、政府デ發表サレ、又信用スベキ數字ニ依ルヨリ外ハナイト思ッテ居ルノデアリマス

○原委員 専門外ノコトデアリマシ

テ、聽イテ見テモ意味ヲ爲サスト思ヒマスカラ、之デ止メマスガ、是ハ政府委員ニ御聽キシナケレバ結局今答辯シテ貰ッテ所デ意味ヲ爲サナイノデアリマス

○西村委員長 昨日アナタカラ御要求

ニナッテ率勢米價ノ算出ニ付キ、専門ノ人ノ意見ヲ聞クト云フコトハ、此程度デ宜シウゴザイマスカ

○原委員 ソレハ違ヒマス、算定ノ數

學的ノ専門ノコトヲ東郷君ガ聽カレ、又専門ノ算定ニ付テハ——本當ノ計數的ノ専門ノ算定ノ方法ニ過チガアルカ否ヤト云フコトラ聽イタノデアリマ

ス、所ガ今聽イタノデハ、ヤハリ實際的ニ經驗ニ依ッテヤッタ、斯ウ云フ話デアリマス、デスカラソレト是トハ違フ

ノデアリマス、私ハ何處マデモ率勢米價ニ付テ、マダ御聽キ申サナケレバナラヌコトガ澤山アル

○西村委員長 原君ニ申上ゲマスガ、

昨日アナタカラ御話ガアッタ時分ニ、政府委員トシテハサウ云フ専門ノ知識ヲ持ッテ居ラヌカラ、政府委員以外ノ者ヲ以テ説明サセルガ、ソレデ宜シイ

カ、斯ウ云フ御話デアッタノデアリマス、ソレデ宜シイカラト云フノデ、政府委員以外ノ者ヲ此處ニ出席シテ説明

シテ貰ッテ、其通リニ運ンダノデアリマシ、所ガ今ノ御話デハ政府委員以外デ

ハ、何ヲ聽イテモ役ニ立たヌ、斯ウ云フ御話デアアル、斯ウ云フコトデアレバ何時マデヤッタ所ガ盡キヌコトニナリマス、ヤハリアナタガ今ノ説明デ御満足デナイナラバ、進ンデ御尋ネテ願フトシナケレバ、何時マデ經ッテモ私ハ盡キヌト思ヒマス

○原委員 昨日私等ノ言ウタノハ、此

算定方法ニ付テ、一定ノ直線ニナルトカ、或ハ曲線ニナルトカ云フコトヲ定メ

ル算定方法ハ、専門家ニ聽カウヂヤナイカト、斯ウ言ッタ、其専門家ニ聽カウト

云フコトハ、斯ウナッタラ斯ウ出マス、斯ウ云フヤウナ話、今仰セニナッタヤウナ率ガ出テ來タカラ、是ハ的確ナモノ

デアリマセヌナラアリマセヌト云フ、斯ウ云フ御話ダケヲ専門家カラ聽クト云フコトデアッタノデアリマス

○西村委員長 今日御見エニナッタノ

ハ専門家デアリマス

○原委員 ケレドモソレハ別ニ今マデノ經驗ニ依ッテ、其相場ノ上リ下リノ一ツノ經驗ヲ御話ニナッタケデ、所謂私

等ハ數學家トシテ聽イタノデハナイ、即チ本當ノ數學的ナ説明ガナイ、結局實驗論ニ依ッテ、大體根本的理論ト云フ

アル

○胎中委員 是ハ話ヲシテモ中々盡キ

マイト思フカラ私ハ一言シタイ、私ハ安藤サンノ統計家トシテ承認シマス、併シ安藤サンノ御話ノ中ニ、論理的根據ガナイ、斯ウ云フコトラハッカリ言ハレ

テ居ル、是ハハッカリ皆サン御聽キデアラウト思フ、唯其場合ニ於テ、長イ經驗ト考察ニ依ッテ定メル、斯ウ云フコトヲ言ハレテ居ル、デアリマスカラシテ、

原君ノ言フ所モ吾々モ亦同様デアリマシテ、實ハ満足出來ナイ、ノミナラズ最後ニ御話ニナリマシタ話ニ依ルト、色々アルノデアラウケレドモ、日

本銀行ノ物價指數ニ依ルヨリ外ニ仕樣ガナイデヤナイカ、政府ガソレヲ宜イトシテ出シタラ、ソレニ依ルヨリ外ニ

仕樣ガナイデヤナイカ、斯ウ云フ御話モアッタ、デアリマスカラ是ハ所謂政府委員デナイ御方デアリマスカラ、是レ

以上私共ガ御尋ネスルト云フコトハ却テ禮ヲ失スルト思フカラ、私ハ安藤サ

ンニ御聽キスルトハ是デ止メテ宜カラウト思フ、然ラバト言ッテ、此問題ガ

是デ納得出來タモノデナイト云フコトダケハ、此處ニ明ニシテ、サウシテ他

ノ機會ニ於テ、之ヲ立案シタ所ノ新井技師デモ御出席ニナッタ時ニ更ニ聽クコトニシテ、是ハ是デ打切ルコトガ適當デアラウト思ヒマス

○安藤農林技師 一寸私一言申上ゲマス

○原委員 一寸速記ヲ止メテ置イテ貰ッたらドウデス

○西村委員長 今マデ安藤君ノガズツト速記ニ載ッテ居リマスカラ、今マデ仰シヤッタコトノ釋明カ何カデナイカト思ヒマス、御聽キニナッたらドウデス

○安藤農林技師 只今私ノ言葉ガ、用ヒ方ガ不十分デ、唯私ノ經驗ヲ申上ゲタト云フ風ニ……

○原委員 安藤サン御話中デスガ——速記中止——イヤ書イテ下サイ——是

ハアナタハ吾々ガ専門ノ本當ノ純理ヲ聽カウト思ウテ來ラレタ、所ガ偶、アナタガ米穀ニ關シテ非常ナ御經驗ノアル方デアル、斯ウ云フ問題ト關聯シテ來テ、サウシテ政府ハ全體ヲ有利ナ——サウ云フ米穀ニモ數學ニモ兩方ニ通ジタ偉イ者ヲ連レテ來テ説明シタノダ、ソレニ依ッたらバモウ満足シナケレバナラスノデハナイカト云フヤウナ、委員長ノ飛ンデモナイ所ニ免レテ行ク土臺ニ使ハレテ來タ、ソレデアリマスカラドウゾ安藤サン一言一句ハ重大デアリマスカラ能ク考ヘテ仰シヤツテ下サイ

○西村委員長 原君ニ申上ゲマスガ、速記ヲ止メル止メスト云フコトハ、一應私ニ御相談ノ上デ御願ヒ致シマス

○安藤農林技師 私ノ想像ヲ申上ゲタ

ノデナイノデアリマシテ、サウ云フ風ナ實驗的ノ——實驗的ト申シマスカ、吾々始終實驗的ト申シテ居リマスカ、斯ウ云フ長イ間ノ數字ヲ纏メマス時分ニハ、初メカラ數學的ノ根據ガナイト云コトハ當然デアリマス、其爲ニハッカリシタ極ク正確ナ方式ヲ定メルト云フコトハ——今日實ハサウ云フ御話モ出ルダラウト思ッテ、御目ニ掛ケテモ宜イト思ッテ、所謂高等數學ノ本ヲ茲ニ持ッテ來タノデアリマスガ、唯一言申シマスト云フト、單獨ニ實驗的ノ事實カラダケデハ、今ノヤウナ「コレクト」ト言ヒマスカ、極クキマッタ正當ナ形ヲ定メルコトハ困難デアル、其處ニ色々ナ數字ニ付テ試ミテ見ルコトガ必要デアルト云フノデ、是ハ「メロー」ト云フ純高等數學デアリマスケレドモ、寧ろ吾々が使フヤウナ應用的ノ方面ヲ書イタ本デアリマス、ソレヲ持ッテ來タノデアリマス、ソレニモサウ云フコトヲ書イテ居ルノデアリマスカラ、此處ニ私ガ自分ノ經驗デサウ云フコトヲ申シタト云フ意味デナイノデアリマス、無論自分ノ考ガ入ッテ居ルト言ハレテモ致方ガナイノデアリマス、其處ニ外ニ定マッタ「フオーム」ガナイノデアリマス、一體實驗的ノモノハサウ云フモノデアルト云フコトノ御諒承ヲ願ヒタイト思フノ

デアリマス

○東郷委員 安藤博士ノ御説明ノ範圍ハ私諒解致シマシタ、序デニ安藤博士ニ御伺ヒシテ置キマス、御話ニ依リマスト、直線ヲ取ルベキデアルト御斷定ニナッテ理由ハ、實驗的カラ來タ色々ノ理由ニ依ッテ三四例ヲ御舉ゲニナリマシタガ、サウ云フ所カラ是ハ直線的デ行クベキモノダト斷定シタノダ、私ハ昨日ナゼ直線的ト斷定シタカ、其數學的ノ根據ガ聽キタイト云フコトヲ申上ゲテ置イタノデアリマスガ、ソレニ對スル御説明ハ、理論ハナイガ自分達ノ實驗カラ來テ斯ク斷定スベキダト斯ウ云フコトデ斷定シタノダ、斯ウ云フ話デアル、ソレト同時ニ其外ノ様式モ色々アル、複利式デ行ク方法モアリ色々アル、ソレハソレハ斷定スル人ノ任意ダ、自分ハ直線ガ適當デアルト思フカラサウ斷定シタ、斯ウ云フコトデアッタト拜承致シマシタガ、其意味ニ承知致シテ置イテ宜シウゴザイマス

○安藤農林技師 私ハ任意ト云フ風ニ若シ申上ゲタナラバ、サウデナイノデアリマシテ、若シ假リニ數字ヲ申上ゲタナラバ或ハ其方ガ御分リニナルダラウト思ヒマス、直線ニスルカ、或ハ複利式ニスルカ、今ノ二ツノ場合ヲ採リマス、直線ニスルカ、複利式ニスルカト云フコトヲ吾々が考ヘマシテモ、其式デ、何方ガ實際此米價率ノ數字ニ適當デアルカト云フコトハ、ヤハリ最小二乘法——是ハモウ申上ゲル必要ハナイト思ヒマスガ、ソレニ依ッテ計算ヲ致シマシテ、サウシテ實際ト計算シタモノトノ差異ノ最小二乘法ノ、二乗ノ總和ノドチラガ多イカ少イカト云フコトヲ比較シテ見ナケレバナラス、ダカラ或ハ理論的ニヤカマシク申シマスレバ、出來ルダケノ計算ヲ皆ヤッタカト言ハレ、バ、或ハサウ云フコトモ私個人トシテハ、サウ考ヘラレタダケノモノヲヤッテ、此二ツノモノガ一番近イト考ヘテヤッタノデアリマス、其前ニ於キマシテモ、今ノ最小二乘法ニ依リマシテ、何方ガ最小デアルカト云フト、直線式ノ方ガ小サイノデアリマシテ、此誤差ノ二乗ガ、直線式ノ方ガ、是ハ無論米價率ヲ百ノ割合ニ考ヘテ居リマスガ、計算ト實際數トノ差ノ二乗ノ總和ガ六千六百デアルガ、ソレニ對シテ對數式ノ方ガ稍多イ、大シタ違ヒガナイ、先刻モ多ク違ヒガナイト云フコトヲ申上ゲタノハ、ヤハリ二十餘、對數式ノ方ガ、私ノ計算デハ多クナッテ居ルノデアリマス、マア兩方トモ極ク似寄ッタモノデアルガ、成ルベク差ノ少イモノヲ採ルト云フナラバ、此直線式ガ宜カラウト斯ウ云フ風ニ私ハ認定ガ出來ルト思フノデアリマシテ、ソレデ

ラ、寧ろ所謂最小二乘法等カラ考ヘテ
モ、其方ガ宜イノダト云フ風ニ認定ガ
出來ルト申上ゲタノデアリマス

○東郷委員　モウ一ツ承ツテ置キマス
ガ、安藤博士ニ、是ハ御答ガ出來ルカ

ドウカ知リマセヌケレドモ、若シ御差支ガナケレバ御答ヲ願ヒマス、安藤博士ノ御研究デハ、今政府ガ出シテ居ル此原案ニ依ル率勢米價、所謂アナタノ直線デ行クベキモノデアルト御認定ニナツテ、ソレガ基礎ニナツテ出タ所ノ此率勢米價、是ガ法律ノ基礎ニナル、且本ノ米價ヲ此程度ニ維持シナケレバナ

ラヌ、生産者ノ立場カラ見、或ハ消費
者ノ立場カラ見テ、此程度ニ日本ノ米
ノ値幅ヲ維持シナケレバナラヌ、ソレ
ヲ定メル爲ノ法律ナンデスカラ、法律
ヲ以テ、生産者カラ言ヘバ、自分ノ持
テ居ルモノ、値ヲ或ル程度マデソレデ
抑制スル、又消費者ノ立場カラ見マス
ト、或場合ニハ安ク買ヘルモノヲモツト

高クスル、國策ガ其處ニ發動スル、斯
ウ云フ譯デ、非常ニ是ハ重大ナ關係ヲ
生ズルノデアリマスガ、ソコデサウ云
フモノ、基礎ニ使フベキモノトシテ、安
藤博士ノ御専門ノ立場カラ見マシテ、毫
モ差支ハナイ、斯ウ云フコトヲ此處デ確
言サレルコトガ出來マセウカ、是ハ學者
トシテ——政治上ノ責任デハアリマセ
ヌガ、アナタノ學問的ナリ、實際家ト

シテノ御考ヲ承テ置ケバ大變都合ガ好イト思ヒマス

○西村委員長 東郷委員ニ申上ゲマスガ、安藤博士ハ今ノ率勢米價ヲ算定スルニ付テ最小自乗法ヲ直線ヲ採ルノガ最モ宜イダラウ、斯ウ云フコトニ對シテノ説明ノ命ヲ受ケテ來テ居ラレルノデアリマスカラ、今ノヤウナコトニナルト、サウデナクシテ米價對策ノ問題ニナツテ來ル、サウ云フコトニナツテ來ルト云フト、安藤サンノ方カラ御話ガ出來兼ネルト云フコトデスカラ、左様御諒承ヲ願ヒマス

○東郷委員 ダカラ初メ御答ガ出來ルカ出來ヌカ知ラヌガト云フコトヲ前提トシテ御伺ヒシタノデアリマスガ、ソレガ出來ナケレバ已ムヲ得マセヌ、ソレデアレバ是レ以上吾々ハ此問題ヲ安藤博士ニ御聽キシテモ無益ト思ヒマス、但シ是デ此率勢米價ノ基礎ノ説明ヲ吾々が聽カヌデモ宜イト云フ譯ニハ行キマセヌカラ、他ノ機會ニ於キマシテ必要ナ場合ニハ何時デモ御説明ヲ願ヒ得ル、斯ウ云フコトニ御含ミ置キヲ願ヒタイト思ヒマス

○片野委員 此機會ニ於キマシテ私モ一ツ御尋シテ見タイト思ヒマスガ、只今率勢米價ノ算出ニ至リマシタ基礎ノ根本理由、理論的根據ニ付テノ色々御説明ガアリマシタガ、私ノ御尋致シタ

イノハ其問題ト一步、ソレヨリハ幾ラカ離レタヤウナコトニ相成リマスルガ、根本的ニ此米穀法ノ上ニ於キマシテ、米穀法發動ノ場合ニ必要ナリトスル一ツノ基準トシテ、率勢米價ト云フモノヲ持ツテ來ナケレバナラナイ、其理由ヲ一ツ御尋致シタイノデアリマス、勿論率勢米價ト云フモノヲ算出致シマシタ所ノ專門家タル當面ノ技術ノ方、只今ハ其意味代表サレタ安藤博士ノ之ニ對スル所見モ伺ツテ置クコトガ出來マスルナラバ、是ハ非常ニ幸ト思フノデアリマスガ、要スル此米穀法ノ存在ト云ヒ、又米穀法ノ發動ニ依ツテ吾々ノ期待スル所以ノモノハ、國民ノ生活ノ安定改善ヲ期スルニアルダラウト思フノデアリマス、即チ生産者ニ對シテハ生産者ノ因ラナイヤウニシナケレバナラナイ、又一般消費者ニ對シマシテハ、消費者トシテ困ルヤウナコトノナイコトニセヌケレバナラナイ、此事ヲ定メルニ當リマシテ從來ノ一寸安藤サン暫ク……

○西村委員長 マダ安藤サンニ、御質問デスカ

○片野委員 參考ニナルコトモアルト思ヒマスカラ、ドウカ暫ク御控ヘテ願ヒタイ、御答辯ノ有ル無シハ御任セ致シマス——斯様ナ意味ノ米穀法デア、又米價ヲ定メルト云フコトモ、根本ハ

其處デアルコトハ私ガ申上ゲルマデモナイノデアリマスルカラ、私ハ簡單ニ素人トシテ申上ゲレバ宜シイガ、一般ニ國民的立場ニ立ツテ見マスと云フト、ドウシテモ生産費ト云フモノヲ早ク調べ、又生計費ト云フモノヲ能ク御調ベ下サレテ、サウシテ所謂達觀デモ何デモ宜イカラ、都合好ク定メテ貰ヘバソレデ宜イ、手取り早く申スト斯様ナコトニ相成ルノデアリマス、然ルニ茲ニ率勢米價ト云フモノヲ何故ニ持出サナケレバナラナイカ、只今御承知ノヤウナ窮迫シタ國民ノ生活狀態デア、殊ニ悲慘ナル農民ノ生活狀態ハ、モウ日ニ日ニ迫ツテ居ルト云フヤウニ叫ベレテ居ル悲痛ナル所ノ叫ビガ農村ニ起リツ、アル此際ニ於キマシテ、高遠ニシテ何日經ツテモ吾々ニ解ルコトノ出來ナイヤウナ高等數學ノ理論ヲ御聽キシテ、此法律ノ審議ニ當ラナケレバナラナイト云フコトハ洵ニ皮肉ナ事柄デアラウト思フノデアリマス、是モ要スルニ現内閣ガ斯様ナ原案ヲ御提出ニ

ナッタノデアアルカラシテ、吾々ハ其理由根據ヲ十分ニ明ニシテ掛ラナケレバナラナイカラ、自然斯様ナコトニ相成ル、ドウモ私カラ見マスと云フト此點ニ於キマシテ、農相モ申サレル所謂達觀ト云フ言葉ヲ使ヒマスルナラバ如何ニモ現内閣ノ机上ノ空論式ナル所ノ傾向ガ

此點ニ於テモ現レテ居ルヤウナ感じガスルノデアリマス、是ハ餘談デアリマスガ、率勢米價ヲ御出シニナツタト云フコトハ大體是マデノ米穀ノ市場價格ノ趨勢ヲ御覽ニナルト云フコトニ相成ルト思フノデアリマスガ、謂ハバ米穀法ノ實施前ト實施後ニ於テハ、申シマレバ人爲デ制限ヲ加ヘタ時代ト、放任シテ參ツタ時代トノ二ツニ相成ルト思フ、又今後ニ於キマシテハ、此法律ノ根本的改正ヲ希望サレ、又現ニ此法案ノ改正トシテ御提出ニナツテ居ルト云フヤウナ事情カラ考ヘマシテモ、益々重要農產物タル米ノ價格ヲ人爲ヲ以テ制限スルト云フ御方針ニナツテ居ル、斯様ニ考ヘテ見マスルト、放任シタル時代ノ趨勢ヲ以テ、サウ云フモノヲ一部分ニ含マレテ居ル事カラシテ歸納サレタ一ノ率勢米價ト云フモノヲ以テ、今後ノ米價ヲ定メル一ノ基準ニスルト云フコトハ如何ナモノデアアルカ、ソコニ基準トスルコトニ付テノ價值ガ如何ナル程度ノモノデアラウカ、結局スルニ、此所謂生産費ト生計費ノ間ニ於テ適當ナル所ヲ見テ定メテ行カナケレバナラヌ、何レニシテモ此認定ノ範圍ト云フモノガ出來マシテ、所謂時ノ責任者ノ自由裁量ノ餘地ハ存サレテ居ルヤウナ關係ニナツテ居ル、此法案ニ依リマシテモ、此點ハ認メテ居ルヤウナ譯デアリ

○片野委員 參考ニナルコトモアルト思ヒマスカラ、ドウカ暫ク御控ヘテ願ヒタイ、御答辯ノ有ル無シハ御任セ致シマス——斯様ナ意味ノ米穀法デア、又米價ヲ定メルト云フコトモ、根本ハ

マス、ソレデ將來ヲ規律スル一ツノ標準ニ、ズット前カラノ趨勢ヲ採ルト云フコトが大ナル分量ヲ占メテ居ル所ノ率勢米價ヲ持出サナケレバナラナイ其理由ハ何處ニ在リマセウカ、之ヲ持出シタガ爲ニ、ドレ程ノ價值ヲ増スノデアラウカ、如何ニモ私ハ此率勢米價ト云フモノニ對シテ、之ヲ割出サレタル根本的理由ニ付テ解シ兼ネマスルト共ニ、何故ニ斯様ナル事ガ特ニ必要ナリト——所謂認定デアリマスカ、最初先ヅ直感的ニ自分ハ考ヘタト云フ安藤サアリマス

話ガアリマシタガ、ソコヘ米價率ト云フモノヲ持ッテ行クコトガ、過去ノ經驗ニ依リマシテ、イツデモ一般物價ヨリ高イ地位ニアル、此米ノ率ヲ標準ノ一ツニ加ヘルト云フコトガ、如何ニ米ヲ重ンズルカト云フ、過去ノ長イ經驗上カラ來テ居ル趨勢ヲ、價格決定標準ノ一ツニ加ヘテ置ク、是ハ生産者側ニ對シテ利益デアルバカリデナク、消費者トシテモ當然、其基準ニハ私ハ旨ンジナケレバナラヌモノデアルト思フノデアリマス

○片野委員 只今ノ參與官ノ御説明ニモ疑問ヲ生ズルコトデアリマスガ、「ウエイト」ト云フコトノ御話ハ、「ウエイト」ノ計算ニ入ッテ居ラナイ基準ヲ以テ御作ニナツタ事柄ガ「ウエイト」ニナルト云フコトハドウ云フコトデアリマスカ、ソレカラ又一ツニハ、一般物價ガ高クナツテ居ルカラ、其趨勢ニ依ッテ只今問題ニナツテ居ル率勢米價ト云フモノニ加ヘテ基準ノ一ツニスルノダト云フ御話デアリマスガ、ソレハ要スルニ其時ノ生産費ト云フ問題ガ、的確ニ、明瞭ニ分ルヤウナ一ツノ調査ノ方法ガ立ッテ居リサヘスレバ、何時デモ生産者農民ノ利益ニナル所ノ方法ト云フモノハ考ヘラレル、又決定サレル譯デハナ

イ、結局數學者ノ所謂獨斷デアルヤウナ事柄ヲ持出シマシテ、一ツノ基準ニシナケレバナラナイト云フ理由ノ御説明ニハ、只今ノ御話デハナラヌト思ヒマス、重ネテ御尋致シマス

○山田政府委員 ソレ程難シイコトマデ基準ニシテ、此米穀法ヲ改正シヨウトハ思ッテ居ラス、決シテ分ラヌコトヲ申上ゲルノデハナイ、多クノ學者ガ寄リマシテ、是ハ決シテ安藤君一人ノ作品デハナイ、澤山ノ學者ヲ寄セマシテ、安藤君ノ認定ト同様ノ認定ガ茲ニ結論トナリマシテ、ソレヲ吾々ガ政治的ニ採用ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ又成程物價指數ニハ「ウエイト」ハ入ッテ居リマセヌ、居リマセヌ爲ニ、此生産費ト云フモノガ、價格標準決定ニ態々混ジルト云フコトハ、米ニ重キヲ置カレル決定上ノ一ツノ大變ニ宜イ參考ニナルモノト、斯ウ申上ゲタノデアリマ

ス

○山田政府委員 其點ハヤハリ御答ニ困ルト言ハレマス、詳シイ事ハ農務局長カラ申上ゲマスガ、ソレガ妙味ノアル所デアルト私共ハ思フ、率勢米價ガアッテコソ米ノ「ウエイト」ガソコニ現レル、先日來御議論ニナツタ中、米ト鰯節若クハ煙草ト比ベテ、サウシテ同ジ値ニ物價指數ニ出ス云々ト繰返シテ御

波ヲ打ッテ居ルカ、幾ラ聽イテモ分ラナ

○片野委員 御自分デモ根據ガ分ラナイヤウナモノヲ持ッテ來テ、米ニ對シテ價格ヲ決定スル上ニ非常ニ尊重スルト云フコトハ、只今ノ御説明デハ諒解シ兼ネル所デアリマス、併シ學者ノ研究ト仰セラレケレドモ、是ハ學者カラ進ンデ御ヤリニナツタモノデハナカラ

ウ、先ヅ大抵趨勢ト云フコトヲ御考ニナツテ、之ニ何カ一ツ宜イ原理原則デモ

附スルコトガ出來ハセヌカト云フヤウナコトデ、學者ヲ御集メニナツテ、所謂學者ハ机上ノ空論ト申上ゲテハ甚ダ失禮デアルケレドモ、色々机上ノ理論ヲ御捏ネニナツタコトデアラウト思フ、併シ如何ニ大學者ガ集ッテモ、集レバ集ル程學者ト云フモノハ所謂机上ノ空論、吾々カラ申上ゲルト空論ヲ捏ネラレルヤウナ傾向ニナツテ居ル、捏ネレバ捏ネル程益、分ラナイヤウナモノガ出テ來タリ、役ニ立たヌモノガ出テ來ルノデハナイカ、併シ斯様ナコトハ只今申上ゲル必要ハナイ、學者ヲ御呼びニナリマシタノハドウ云フ學者ヲ御集メニナツテ、ドウ云フ一ツノ指導ト云ヘバ宜イカ、一ツノ基礎ノ問題トシテ、如何ナルコトヲ其學者ニ御與ヘニナツテ、サウシテ是ハ研究ナサレタカ、學者ノ御氏名ト併セテ其最初ノ出發點ノ課題ヲ一ツ御知ラセテ願ヒタイ、又之ヲ米價ヲ決定スル上ニ非常ニ尊重シタ所以ニナルト云フコトハ、殆ド只今ノ御説明デハ私ハ諒解シ兼ネルノデアリマス、要スルニ生産費ガ早ク分ルヤウナ標準ヲ取ッテ、併シ是モ學者ノ論理ノヤウナコトヲ考ヘテ、一分一厘間違ナイヤウナモノガ出來ル筈ハナイ、所謂大臣ノ御説明ニ繰返サレタ通り、大體觀察ト云フコトハ、或ル程度ニ於テハ必要ニナツテ來ル、今日デモ既ニ生産費調査ト云

フモノハアル、之ヲ以テ一方ニ於テノ
一ツノ基準ニサレ、一方ハ生計費ノ基
準ト云フモノヲ設ケラレテ、ソレデ適
切ナル範圍ニ於テ御發動ニナツテ一向
差支ナイト思フ、故ニ茲ニ趨勢値ト云
フモノ、即チ放任時代ト人爲時代トノ
境ガアツテ、過去ノ放任時代ノモノカラ
續イテ參ッテ居リマス趨勢値ト云フモ
ノヲ以テ、將來生産者ト消費者ノ生活

長ノ御話デ保留シタ點ハ、率勢米價ニ
付テ、斯ウ云フ法律ヲ設ケルコトハド
ウダト云フ點デ保留シテ置イタノデア
リマス、是ハマダ農林大臣ニ質サナケ
レバナラヌ幾多ノ點ガアリマスガ、農
林大臣ガ御見エニナラヌヤウデスカラ
今日ハ此程度デ止メテ散會願ヒタイト
思ヒマス

○山田政府委員 農林大臣ハ今見エマ
ス、私其處マデ行ッテ來マス

ヲ困ラセナイ、安定サセヨウト云フ基
準ヲ立テルト云フコトハ、ドウ云フ必
要ニ依ッテ斯ウ云フモノガ出テ參ルノ
デアルカ、此點ハ數回御答辯ヲ戴クケ
レドモマダ分リマセヌカラ、大體此點
ハ大臣ニ御聽シナケレバ、是レ以上ハ
出來ナイカト思ヒマスカラ、此必要ノ
問題ハ大臣ノ方ニ御尋ネ申上ゲルコト
ニシマス、御出發點ノ研究課題ト、學
者ハドウ云フ學者ヲ御集メニナツタカ、
此點ヲ此處ニ御聽シテ置キマス

○西村委員 農林大臣ハ今見エマ
ス、私其處マデ行ッテ來マス
○西村委員 農林大臣ハ今見エマ
ス、私其處マデ行ッテ來マス
呼ビニヤリマシタカラ、見エルダラウ
ト思ヒマスガ、暫クノ間休憩ヲシテハ
如何デスカ
「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○山田政府委員 昨日農務局長カラ御
答シタ學者デアリマス

○西村委員 午後四時十分休憩致
シマシテ、丁度四時カラ始メルコトニ
致シマス、左様御承知ヲ願ヒマス
午後三時四十分休憩

○山田政府委員 昨日農務局長カラ御
答シタ學者デアリマス

○西村委員 午後四時十分休憩致
シマシテ、丁度四時カラ始メルコトニ
致シマス、左様御承知ヲ願ヒマス
午後三時四十分休憩

○原委員 所謂學者ノ點ニ付キマシテ
ハ、サウ専門的デアリマセヌガ、専門
的ナ所謂算定ノ問題ハ、東郷委員カラ
御尋ニナツタ所ガ、ソレハ肝腎ノ人ガ病
氣ガ治ラヌカラ、此點ニ付テハ保留シ
テ置クト云フコトデアリマシタ、又私
ノ昨日保留シタ點ハ何デアッタカト申
シマス、時間ガ來タカラト云フ委員

○西村委員 午後四時十分開議
ソレデハ休憩前ニ引續
イテ會議ヲ開キマス
○片野委員 只今ノ議事進行ノ狀況
ハ、原君ノ質問ノ儘ニナツテ居ルノデ
アリマスガ、先程ハ幸ヒ安藤博士モ御
出デニナツテ居リマシテ、私關聯シテ
ト思ッテ色々御尋ヲ致シタノデアリマ
ス、最初ニモ申上ゲマシタ通り、率勢
米價其モノニ對シテノ根本的ナ一ツ說

明ヲ戴イテ、吾々が納得スルダケノ御
說明ヲ戴カナケレバナラヌガ、其問題
ハドウカト云フコトヲ簡單ニ前置シテ
御尋シタヤウナ次第デアリマス、斯様
ナ關係ニナツテ居リマスシ、安藤サンモ
御退席ニナツテ居リマスカラ、私ノ申
上ゲマシタコトハ又他日ニ譲リマシ
テ、只今私ノ質問ハ打切りマス、ドウ
ゾ原君ノ質問ヲ御繼續ヲ願ヒマス

會計法ノ改正トノ關係デアリマス、法
律上カラ見マス、是ハ各獨立シタモ
ノト考ヘルコトハ勿論デアリマス、併
シ政治的ト申シテ宜シイカ、實際貴衆
兩院ヲ通過スルコトニ付キマシテハ、
出來ルダケ皆様ガ此兩案ヲ御審議シテ
下サル方ガ、米穀特別會計法ヲ通過サ
セル上ニ於テモ極メテ必要デアアル、斯
ウ考ヘテ居リマス

○原委員 昨日ニ關聯シタ問題ニ入ル
前ニ一ツ農林大臣ニ御伺シタイノハ、
實ハ昨日大藏省ノ米穀需給調節特別會
計法律案ノ提出ニ付テノ御意見ヲ一寸
御伺致シタノデスガ、ソレハ米穀法ノ
改正案ガ通過スルトセストハ別ト致シ
マシテ、此特別會計法案ハ成立サセタ
イト思フ、斯ウ云フ御説明ガアッタノ
デアリマスガ、此點ニ對シテ農林大臣
ハ如何ナル御考ヲ御持チニナツテ居リ
マスカ

○町田國務大臣 先刻申上ゲマシタ通
リ、法律關係カラ言ヘバ各、獨立シタ
問題ト御解釋下スツテ宜シイノデアリ
マス、併シ實際政治ノ上カラ見マス、
之ヲ一絡ニ御審議下スツテ御協賛下サ
ル方ガ結構ダト思ヒマス、更ニソレヲ
打明ケテ率直ニ申シタ方ガ、私ノ御答
シタコトガ又問題トナツテハ相濟ミマ
セヌガ、實際ノ事情カラ申シマス、
御承知ノ通り貴族院ニ於キマシテハ、
前內閣ガ七千萬圓運轉資金ヲ増スコト
ノ提案ヲサレマシタ時ニ、在野黨タル
私共モ此七千萬圓増額ニ御同意シタノ
デアリマス、而シテ貴族院ニ於キマシ
テ此問題ガ審議セラレ、之ガ通過スル

○町田國務大臣 大藏政務次官ノ此處
ニ於テアナタノ御尋ニ答辯シタコト
ハ、實ハマダ速記録モ出來テ居ラズ、
十分打合ハセル暇ガナカッタノデアリ
マス、デアリマスルカラ、或ハ大藏政
務次官ノ御答シタノト一致スルカ否ヤ
ハ私、知リマセヌガ、私ノ考ヘテ居ル
コトダケハ率直ニ申上ゲマス
米穀法ノ改正ノ此提案ト、米穀特別
會計ノ運用資金ヲ増加スルト云フ特別

○町田國務大臣 先刻申上ゲマシタ通
リ、法律關係カラ言ヘバ各、獨立シタ
問題ト御解釋下スツテ宜シイノデアリ
マス、併シ實際政治ノ上カラ見マス、
之ヲ一絡ニ御審議下スツテ御協賛下サ
ル方ガ結構ダト思ヒマス、更ニソレヲ
打明ケテ率直ニ申シタ方ガ、私ノ御答
シタコトガ又問題トナツテハ相濟ミマ
セヌガ、實際ノ事情カラ申シマス、
御承知ノ通り貴族院ニ於キマシテハ、
前內閣ガ七千萬圓運轉資金ヲ増スコト
ノ提案ヲサレマシタ時ニ、在野黨タル
私共モ此七千萬圓増額ニ御同意シタノ
デアリマス、而シテ貴族院ニ於キマシ
テ此問題ガ審議セラレ、之ガ通過スル

○山田政府委員 昨日農務局長カラ御
答シタ學者デアリマス

○西村委員 午後四時十分開議
ソレデハ休憩前ニ引續
イテ會議ヲ開キマス
○片野委員 只今ノ議事進行ノ狀況
ハ、原君ノ質問ノ儘ニナツテ居ルノデ
アリマスガ、先程ハ幸ヒ安藤博士モ御
出デニナツテ居リマシテ、私關聯シテ
ト思ッテ色々御尋ヲ致シタノデアリマ
ス、最初ニモ申上ゲマシタ通り、率勢
米價其モノニ對シテノ根本的ナ一ツ說

○町田國務大臣 大藏政務次官ノ此處
ニ於テアナタノ御尋ニ答辯シタコト
ハ、實ハマダ速記録モ出來テ居ラズ、
十分打合ハセル暇ガナカッタノデアリ
マス、デアリマスルカラ、或ハ大藏政
務次官ノ御答シタノト一致スルカ否ヤ
ハ私、知リマセヌガ、私ノ考ヘテ居ル
コトダケハ率直ニ申上ゲマス
米穀法ノ改正ノ此提案ト、米穀特別
會計ノ運用資金ヲ増加スルト云フ特別

○町田國務大臣 先刻申上ゲマシタ通
リ、法律關係カラ言ヘバ各、獨立シタ
問題ト御解釋下スツテ宜シイノデアリ
マス、併シ實際政治ノ上カラ見マス、
之ヲ一絡ニ御審議下スツテ御協賛下サ
ル方ガ結構ダト思ヒマス、更ニソレヲ
打明ケテ率直ニ申シタ方ガ、私ノ御答
シタコトガ又問題トナツテハ相濟ミマ
セヌガ、實際ノ事情カラ申シマス、
御承知ノ通り貴族院ニ於キマシテハ、
前內閣ガ七千萬圓運轉資金ヲ増スコト
ノ提案ヲサレマシタ時ニ、在野黨タル
私共モ此七千萬圓増額ニ御同意シタノ
デアリマス、而シテ貴族院ニ於キマシ
テ此問題ガ審議セラレ、之ガ通過スル

ト同時ニ、米穀法ヲ根本的ニ改正スル
コトノ一致ノ希望ガアリマシタノデア
リマス、左様ナ事情カラ見マス、政治
的ニ見マスレバ、此二ツノ法案ハ同時
ニ御協賛願フコトガ必要ト、斯ウ考ヘ
マス、併シ法律上ノ關係カラ言ヒマス
ト各、獨立シタ法案デアリマス、斯ウ申
上ゲタ次第デアリマス

○原委員 田中内閣ノ當時ニ於テヤッ
タ米穀法ト云フモノハ無見當デアッテ、
サウシテ米穀法ノ本當ノ發動スル基準
ト云フモノハ、理論的ノ根據ガ無い、
ダカラ反對デアルト云フノデ、當時農
林大臣ハ御反對ニナッタ、隨テ今度ノ米
穀法ノ改正案ハ、即チ法律的ノ根據ト、
ソナナ出鱈目デナクテ、完全ナ發動ノ
時期ニ付テ理論的ノ根據ヲ求メテ、サ
ウシテ發動スルト云フコトニ於テ初メ
テ有意義デアル、斯ウ云フ建前カラ農
林大臣ガ此米穀法ノ改正案ヲ御出シニ
ナラレタノガ、今度ノヤカマシイ基準
價格ノ問題ニナッテ來テ居ルノデアリ
マス、ソレデスカラ若モ從來ノ建前カ
ラ仰セニナッタナラバ、此米穀法ノ改正
案ガ通ラナイ以上ハ、即チ米穀需給調
節特別會計法律案モ同時ニ當然不必要
ナモノデアル、斯ウ云フ結論ガ吾々ハ
生ズルト思ヒマスガ、此點ハ如何デゴ
ザイマス

○町田國務大臣 原サンノ今ノ御質問

ノ前ニ御述ニナッタコトハ、前内閣ノ時
ノ米穀法發動ニ對シテ、私ガ何カ非難
ヲシタヤウナ意味合ノ御話ガアリマシ
タガ、七千萬圓ノ運轉資金ヲ増加スル
時ニ於キマシテハ、私トシテ之ニ反對
シタ意見ヲ發表シタ覺エハゴザイマセ
ヌ、唯在野黨タル當時ハ、憲政會デア
リマシタカ、民政黨ニナッテカラデアリ
マシタカ、此増額ニ對シテハ一般會計
ヲ以テ此缺損ヲ補充スルノガ原則デア
ルケレドモ、財政上直ニ之ヲ一般會計
ニ移スト云フコトモ、困難デアラウカ
ラ、缺損金タル七千萬圓ヲ補填スル意
味ヲ以テ、此七千萬圓ノ増額ニ賛成ス
ルト云フ意見ヲ民政黨デ取ッテ答デア
リマス、私ナドハ民政黨ノ意見ヲ纏メ
ルニハ餘程努力シタ筈デアリマスカ
ラ、私ガ今御話ニナッタヤウナ意見ヲ發
表シタ記憶モアリマセズ、私デハアリ
マスマイト思ヒマス、ソレハ姑ク措キ
マシテ、前内閣ガ一定ノ基準ノ下ニ、或
ハ米穀法ヲ濫用シタ、若クハ用ヒ方ガ
慎重ヲ缺イテ居ルト云フヤウナ意味合
デ、私ガ反對シタト云フヤウナ意味合
デアリマスガ、私ハ左様ナコトヲ致シ
タ覺エハ斷ジテアリマセヌ、何カ外ノ
人ガソナナコトヲ言ヒマシタカ知ラヌ
ガ私トシテハ覺エゴザイマセヌカラ一
應申上ゲテ置キマス、ソレカラ此米穀
法ノ改正ガ萬一行ハレヌ時ニハ、米穀

特別會計ノ八千萬圓ヲ増額スルコトモ
併セテ米穀法ノ通過セナイ場合ニハ併
シテ是モ捨テラルカト云フヤウナ意味ノ
御尋ネト思ヒマスガ、私ハ出來ルデケ
此委員會ニ於テ皆様ノ御了解ヲ努メテ
得マシテ、二ツ共御協賛ヲ願フ努力ヲ
スル筈デアリマスカラ、其通ラナカッタ
場合ノ御答ヲスルノハマダ早イト思ヒ
マス

シテ委員會ヲ設置セラレテ諮問セラレ
タト同ジ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、
即チ前内閣ノ田中内閣ノ諮問セラレタ
中ノ主ナルモノハ、米穀需給調節資金
ノ制度ニ付テハ、第五十六帝國議會ニ
於テ借入金ノ限度ヲ七千萬圓擴張シタ
ルモ、右ハ臨時ノ應急的施設ニ止マル
ヲ以テ損失金補填ノ問題ト共ニ更ニ根
本的ニ考究スルノ必要ニ迫マラレテ此
諮問案ヲ出シタ、此意味ト私ノ考ハ同
一デアリマス

○原委員 私ハ通ラナカッタ場合ヲド
ウセイト云フ意味デハナイノデアリマ
ス、其米穀法ノ改正案ト云フモノヲ今
度御出シニナル根據ハ、從來ノ遣方デ
ハイケナイノデアルカラ此改正案ヲ出
スノダ、從テ此意味ニ於テ初メテ改正
案ト云フモノ、基礎ガ有意義ダカラ引
續イテ米穀法ノ需給特別會計法ノサウ
云フ法律案ガ出テ來ルノダ、斯ウ云フ
形ニナルノデヤナイカト斯ウ云フノデ
アリマス、ダカラ改正案ト云フモノガ
ナクテモ、特別會計ノ方ダケハ、是ハ全
然理論的ニ切り離シテ良イノダト云フ
御考デアルカ否ヤト云フコトヲ御聞キ
申シタノデアリマス

○町田國務大臣 ドウモ先刻ノ私ノ御
答デ大體ノ趣意ハ御諒解ヲ得タコト、
實ハ思ヒマスケレドモ、更ニ言換ヘマ
スレバ、私共ガ此案ヲ出シマシタ趣意
ハ、田中内閣ノ時ニ米穀ノ需給及ビ價
額ノ調節ニ關シ、採ルベキ方策如何ト

○町田國務大臣 同ジ御尋ネト思ヒマ
スガ、此法案ハ各、獨立シタ法案デア
リマス、併シ米穀政策ヲ行ヒマスルニ
付キマシテハ、前内閣モ現内閣モ同様
ニ、根本的ニ之ヲ改正スル必要ヲ感ジ
テ居ルト同時ニ、米穀特別會計ノ運用
資金ガ最早ヤ乏シキヲ感ジテ居リマス

ガ故ニ、併セテ御協賛ヲ得タイト云フ希望ニ依ッテ、二ツヲ一緒ニ出シタノデアリマス、ソレ故法律上ノ點カラ見レバ、各、獨立シタ問題デアリマスガ、前内閣ガ認メラレル通り、此法案ヲ根本的ニ改正セナケレバ、將來此法律ノ運用ニモ困ルト云フ御考ガアリマシテ、根本的の改良ヲ主張セラレタノデアリマス、是ガ爲ニ調査會ト云フモノガ出來マシテ私共モ其考ハ前内閣ト何等變リハアリマセス

○原委員 ソレハソレ後御尋ネスルコトニシテ、此點ハドウモ私共満足セスト思ヒマスガ、此程度ニ致シマシテ、昨日ニ引續イテ私ハ農林大臣ニ質問ヲ致シテ見タイト思ヒマス、ソレハ此基準價額ノ率勢米價ノ内容ニ付テ不完全デアルト云フコトハ御認メニナリ、其處ノ點ハ達觀シテヤル、斯ウ云フ仰セガアッタノデアリマス、ソレニ對シテ私ハ法律ヲ一度決定シテ、最低最高ノ價額ヲ定メテ、是ガ基準價額デア

ルカラ之ヲ標準トシテヤルノダト云フ以上ハ、是ハ達觀シテヤルト云フ譯ニ行カヌノデ、此基準價額ヲ基礎トシテ、何處マデモ米穀法ガ發動スルノデ、斯ウ云フコトニナルニ對シテ達觀スルト云フコトハ出來ヌガ、果シテドウ云フ御考デアルカト云フ私ノ質問ヲ申上ゲマシタガ、農林大臣ハ、併ナガラ其處

ニ相當ノ幅ガアルノダト、斯ウ仰セニナツタ、其間ニ動ケヌコトハナイ、相當動ケル意味ニ於ケル達觀ダト斯ウ言ハレマシタガ、最低價額最高價額ト云フコトニ付テ不完全ダ、斯ウ云フタ時ニ農林大臣ハ、ソレハ生産費ヤ色々加味シテ、サウシテ達觀シテヤルノダ、斯ウ云フノデアリマスガ、ドウモ私等ニ分ラナイコトハ、一度法決定マッタ價額ガ、法律的ニ決スルニハビタリト定メ

ルノデアリマス、其處ニユトリガナイト思ヒマスガ、非常ニユトリガアルヤウナ御話デアリマシタガ、ユトリガアルト云フノハドウ云フコトデアリマスカ、ソレヲ御尋ネ致シマス

○町田國務大臣 一寸御詫ビト申シテ宜イカ、皆サンニ御諒解ヲ得テ置キタイト思ヒマス、一昨日此處御答シタ今ノ御質問ノ點デアリマス、速記録ヲ見マシテ、多少訂正ヲ致サナケレバナラヌ事ガアルヤウニ私ノ方ノ農林當局ノ此席ニ居ッタ者カラ聽キマシタ、折角速記録ヲ急イデ待ッテ居リマスガ、マダ出來テ居リマセス、茲ニ私ノ申上ゲ様ガ少シ混合シタ虞ガアッタコトヲ御詫ビシテ置キマス、ソレハ私ノ達觀ト云フ意味ハ、附則ノ率勢米價一本デ暫クヤルノデアアル、所謂生産費、生計費、竝ニ率勢米價ト云フモノト、三ツ成立ッ

○町田國務大臣 一寸御詫ビト申シテ宜イカ、皆サンニ御諒解ヲ得テ置キタイト思ヒマス、一昨日此處御答シタ今ノ御質問ノ點デアリマス、速記録ヲ見マシテ、多少訂正ヲ致サナケレバナラヌ事ガアルヤウニ私ノ方ノ農林當局ノ此席ニ居ッタ者カラ聽キマシタ、折角速記録ヲ急イデ待ッテ居リマスガ、マダ出來テ居リマセス、茲ニ私ノ申上ゲ様ガ少シ混合シタ虞ガアッタコトヲ御詫ビシテ置キマス、ソレハ私ノ達觀ト云フ意味ハ、附則ノ率勢米價一本デ暫クヤルノデアアル、所謂生産費、生計費、竝ニ率勢米價ト云フモノト、三ツ成立ッ

レバ、生産費ノ調査ガ出來テ、一方ハ率勢米價ガ出來タノデアリマス、其買入ノ場合ニハ、率勢米價ノ下値二割ト生産費トヲ二ツ見マシテ、或ハ生産費ガ相當高クテ、率勢米價ノ見タ米價ガ安イ場合モアル、或ハ時ニ依レバ率勢米價ノ方が高クテ生産費ノ安イ場合モアリマセウト思ヒマス、其場合ニ此二ツヲ見合ハスノハ經濟上ノ情景、情勢等ヲ斟酌シテ、達觀的ニ之ヲ按配スルノダ、此意味ヲ私ハ暫定的ニヤル、下値二割、上値二割ト云フ率勢米價ニ依ッテ、暫時ヤル場合ニモ達觀ト云フヤウニ申上ゲタト云フコトニ注意ヲ受ケテ居マスガ、ソレハ甚ダ相濟マスガ、私ノ申ス達觀ナルモノハ、此率勢米價竝ニ生産費、生計費ガ出來タ、其基準ガ完全シタ時ニ、ソレヲ見合ハシテ、當局者ガ米穀委員會ニ諮ッテ値ヲ定メル意味ノ間ニ於ケル達觀デアリマスカラ、甚ダ私ノ答辯ガ二ツ混淆シテアッタヤウニ思ヒマスカラ、速記録ヲ見タ上ニ改メテ訂正スルコトノ御諒解ヲ得ヨウト思ッテ居ッタ問題ヲ、今御尋下サツタカラ改メテ申上ゲテ置キマス

○原委員 サウ致シマスト生産費若クハ生計費ヲ加味シタ場合ニ於ケル達觀ダト云フコトデアッタ、斯ウ云フコトニナツテ來マスカラ、問題ハ率勢米價ダケノ基準トシテ、即チ生産費、生計費ノ調査ガ出來ルマデハ率勢米價ダケヲ基準トシテヤルノダ、斯ウ云フコトニナリマス、サウ致シマスと云フト率勢米價ニ付テ不完全ナコトハ不完全ダ、不完全ノ程度ガ割合方少イノダ、斯ウ云フ仰セニ戻ッテ來タノデアリマスガ、不完全デアルト云フコトヲ御認メニナッテ居ルノデアリマスガ、其生産費ヤ生計費ノ調査モ出來スノニ不完全ナル率勢米價デ、何故本法ヲ至急ニ御拵ヘニナツタカ、セメテ當局ガ完全ダ是ナラバマア安心シテ大丈夫ダト云フ率勢米價ニ基礎ヲ置カレルノナラ宜シイガ、農林大臣ガ不完全ダト云フコトヲ御認メニナツタモノヲ以テ、今本法ヲ御作リニナルト云フコトハ如何デアリマスルカ

○町田國務大臣 尤モナ御尋デアリマス、少シ諄クハアリマスガ、米穀調査會ニ於キマスル二箇年間ノ委員會ノ形勢ヲ、大體御參考ノ爲ニ一寸申上ゲマス、是ハ東郷君ハ大抵御承知ノ通りデアリマスルガ、委員會ニ於キマシテハ斯様ナ煩雜ナ方法ヲ避ケテ、物價指數カラ割出シタ、米價率ト申シテ宜シイカ、ソレダケデ單純ニヤレバ、達觀シタ時ノ經濟事情ニ依ッテ、諸物價下落スル場合モアル、諸物價騰貴スル場合モアル、其經濟上ニ現ハレタ事情ニ依ッテ、米價モソレニ從ッテ調節スルガ宜イノデヤナイカト云フ單純ナ議論モ相當

アッタノデアリマス、併シ私共ハ其點ハ面白クナイ、左様ナリ方ハ生産者タル農家ニ容易ナラザル不利益ナ結果トナルト云フ意味カラ所謂「ウエイ」ヲ加ヘタ意味ト同ジコトニナリマスガ、率勢米價ナルモノニ依ッテ今日ノ所謂米價ノ地位ヲ考ヘテ見レバ、一般物價ノ割合カラ見レバ一割九分何厘重サガ掛ッテ居ルト云フ生産者ノ立場ヲ考慮シ尊重シテ、率勢米價ナルモノハ編出サレタノデアリマス、而シテ從來ノ三十年間ノ經驗ニ依リマスルト、大體ハ一般物價カラ見マス二割以内ノ動キニ止ッテ居ルノデアリマスルガ故ニ、經濟上總テノ點ヲ考慮シテ、先ヅ此法律デアレバ大體生産者ノ立場モ考ヘルコトガ出來ル、又假ニ凶作デアルトカ、需給關係デ、米ノ需要ガ少シテ米價ガ上ツタ場合ガアルト想像シマス、大正七八年ノ大騒動ヲ起シタ時ノ如キ特例ハ姑ク別ト致シマシテモ、多少今後ト雖モ、平年作ヨリモ不作デアルト云フ年ガ生ジマスルト、一方ハ外米管理ヲヤッテ居リマスルカラシテ、相當米ガ高クナリマセウ併シ此率勢米價ニ依ル場合ニナリマスルト、率勢米價ノ中心點カラ二割米價ガ上ルマデハ、消費者ノ方ニ我慢シテ貰ッテ、其二割ヲ越シタ時ニ初メテ政府ガ米ヲ賣出サウ、此場合ニ於テハ消費者ガ餘程不利益ナ地位ニ立

チマスケレドモ、率勢米價一本デ行ク場合ニ於テハ消費者ニ於テモ我慢シテ——差上ゲタ表ニアリマス通り、家計費ヲ調べ、米ノ價ヲ一家ニ於テ三人平均、五人平均ノ場合ニハ斯様ナモノニナッテ、生計費ノ中ノ二割何分ハ米ノ價ダ、併シ米ガ上ツタ時ニハ多少副食費モ減ズルガ宜シイ、交際費モ幾分カ減ジ、二割高値マデハ生産者ノ方ハ利益スルガ消費者ノ方ハ困ッテモ、ソレハ消費者ノ方デモ大局ノ上カラ我慢スルガ宜シイト云フ建方デ、上値二割、下値二割トナッテ居ルノデアリマス、下ノ方ニ下リマシタ時ニハ、消費者ハ喜ブガ生産者ノ方デハ餘リ利益ト考ヘス時代デアリマスガ、大體カラ觀測シテ、餘リ暴騰暴落ニ依ッテ生産者ノ利益ヲ傷ツケ、或ハ消費者ノ生活ヲ脅スコトヲ避クル爲ニハ、大體此標準ニ依ッテ行ケバ大ナル誤ガナイ、此大體ノ意味カラ、其處ニ出テ居リマス、ソレカラ今ノ日本銀行デ作リマシタ物價指數ハ完全デナイ、完全デナイイカラ不完全ト仰シヤルノモ別ニ異論ハアリマセスガ、不完全ナモノ何故ニ基トスルカト云フ御尋ガアレバ、私ハソレニモ已ムヲ得ズ基トスルト云フカ、別ニ反對ハ申シマセス、併シ日本ガ今在リマス物價指數ノ統計ハ、何レモ完備シテ居ラス、或ハ相當理想的ニヤッテ居ッテモ、年數ガ未ダ少

イ、斯様ナ統計ハ年數ガ長クナレバナル程、不平均ハ段々減ゼラレテ、百年百五十年ト經チマスレバ、一層ハ完全ニ近イモノニナル、今日日本在ルモノハ、三十三年カラヤリマシタ日本銀行ノ指數ガ比較的宜シイ、完全デアアルカト言ヘバ、完全トハ申サレス、是モ事實デアリマス、併シ物價指數、米價指數ヲ基トシテ率勢米價ヲ作ル根據ヲ何ニ求ムルカト云ヘバ、完全トハ申サレヌガ、今在ル中デハ之ニ依ル外ハナイ、而シテ率勢米價ト云フコトヲ立テマシタノハ、三十年間ノ經濟上ノ推移、人口ノ増殖ニ伴フ農產物、殊ニ米ノ値ヲ一般物價ノ指數ニ較ベレバ、傾向ハ高クナッテ居ル、其事情ヲ十分考慮シテ生産者ノ立場ニ向ッテハ、餘程ノ重キ考慮ヲ加ヘタ結果デアリマス、生産費、生計費ノ調査ガ、是モ困難ナ調査デアルト云フコトハ御承知ノ通りデアリマス、併シ出來ルダケ當局トシテハ、生産費生計費ノ調査ヲ取急イデ、此附則ヲ用ヒズシテヤルコトニ努力シマシテ、ソレノ出來ル間ハ已ムヲ得ズト申シテ宜シイカ、一種ノ便宜法ト云ッテ宜シイカ、暫クノ間之ニ依ッテヤルト云フコトガ、今日ノ狀態ニ於テ是レ以上ニ別ニ名案ガ出ナカッタノデアリマス、又調査會ニ於キマシテモ、寧ロ一般物價ノ指數ニ依ッテヤルガ宜シイト云フ

議論モアリマシタガ、農林當局トシテハ、左様ナコトハ生産者ノ利益ニ反スルト云フ點カラソレヲ捨テマシテ、所謂一般物價指數ニ「ウエイ」ヲ置イタト同ジ結果ニナル率勢米價ト云フコトヲヤッテ、大局ノ上カラ是デ運用スルヨリ外ニ致シ方ガナイト斯様ニ考ヘタノデアリマス

○原委員 幾ラ其事ヲ言ッテ居ッテモ盡キナイカラ、ソレハサウトシテ、ソレデハ御尋致シマスガ、生産費ト云フモノト、率勢米價ト云フモノト、農林大臣ハドチラヲ重ク見テ御出デニナリマスカ、私ノ重ク見ルト云フ意味ハ、ドチラモ基礎ニシナケレバナラスト云フ時ニ於テハ、率勢米價ノ方ガ重イカ、生産費ノ方ガ重イカ、ドチラガ重イト御考ニナッテ居リマスカ

○町田國務大臣 經濟上ノ物價ノ動キハ、單ニ生産費ダケデハ動カス、當時ノ經濟事情ニ依リ、需要供給ノ關係ニ依リ、消費ノ増加スル模様、色々ノ點カラ此物價ガ定マリマセウ、米價亦然リデアリマス、昨年ハ異常ナル豐作ニ依ッテ茲ニ剩餘米ヲ生ジテ、米價ガ著シク低落致シマシテ、農家ノ收入ニ於テ非常ナル減少ヲ來シ、是ガ爲ニ農村經濟ノ上ニ打撃ヲ與ヘテ居ルコトハ申スマデモアリマセヌ、併シ大局カラ申シマスレバ、人口増加ニ伴ッテ米ノ供給量

ヲ増サシムルニハ非常ナル努力ヲ要ス
ルト思ヒマス、隨テ今後ノ米價ハ、他
ノ經濟事情ヲ考慮シテ見マスルト、今
ノ一般物價ノ平均指數カラ見レバ、ヤ
ハリ米價ダケハ高クナルベキモノト確
信致シテ居リマス、斯様ナ點カラ見マ
スルト、當分ノ間率勢米價ニ依ッテ、生
産費、生計費ノ出來上ルマデハ之ニ依
テ行キタイト思ヒマス、ソレカラドチ
ラニ重ギヲ置クカト云フ問題デアリマ
スガ、是ハ見様ニ依ッテ色々ナ意見ガ
立チマスガ、大體ニ於テハ出來ルダケ
農業ノ經營ノ改善、或ハ販賣制度ノ改
善ニ依ッテ農家ニ相當ナ利益ヲ與ヘル
ト同時ニ、米價ヲ其意味ニ於テ餘リ高
クセス、出來ルダケハ農家ノ利益ト調
和シタル意味ニ於テ、他ノ施設ニ依ッテ
米價ノ上ガルコトハ避ケル施設ヲヤ
テ居リマス、併シ時ノ經濟事情ガ、總
テノ物價ニ向テ大變動ヲ來スト云フガ
如キ經濟事情デアリマス場合ニ於テ
ハ、ヤハリ率勢米價ニ相當考慮ヲ致サ
ナケレバナラス、農家ノ爲ヲ計ッテ、農
家ノ生産費ニ引合ハスト云フヤウナ場
合デアリマスレバ、生産費ニ重キヲ置
クノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、
今後ト雖モ生産費以上ニ率勢米價ガ高
クナル場合モ想像シ得ラレルノデアリ
マス、サウ云フ場合ニハ率勢米價ヲ相
當重ク考ヘナケレバナラス、又場合ニ

依レバ米價ガ著シク低落シタト云フ場
合ニハ、經濟事情ニ依ッテ低落シタ其意
味カラ考ヘルト同時ニ、斯様ナ場合ニ
ハ生産費ヲ喰入ッテ、農家ノ爲ニ非常ニ
不利益デナイカト云フ場合ニハ生産費
ニ重キヲ置ク、時ト場合ニ依ッテ、何レ
ニ重キヲ置クト云フコトガ自ラ變化ア
ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマ
ス

○原委員 私ノ御尋シタ點ハ極ク簡單
ナノデス、其最後ニ仰セニナッテ、農村
ノ生産費ト云フモノガ切レルヤウナ場
合、生産費ト云フコトヲ度外視スルコ
トハ出來ヌノデハナイカ、唯此場合ダ
ケヲ私ハ御聽シタラ宜イノデス、生産
費ヲ度外シテモ宜イト云フ時ガアル
カ、生産費ト云フモノハ有ユル時ニ於
テ度外視スルコトハ出來ヌト云フコト
ニナルカ、斯ウ云フノデス

○町田國務大臣 附則ニアリマスル、
暫クノ間ハ率勢米價ニ依ルト云フ臨時
的ノ附則ヲ除キマシテ、米穀法ノ建方
カラ申シマスレバ、生産費、生計費及
率勢米價ト云フモノヲバ重ク考ヘテ、
生産者ノ立場カラ見テハ生産費ニ重キ
ヲ置ク、若シ生産費ヨリモ率勢米價ガ
高イ場合デアッタナラバ一般多數ノ國
民ノ消費生活カラ考ヘテ、消費者階級
ノ生活ノ安定ヲ圖ルト云フコトモ亦相
當重ク考ヘナケレバナラス、今原君ノ

御尋ノ如ク、ドチラニ重キヲ置クカト
云フコトニ對シテハ、單純ニ時ノ事情
ニ依ッテ變化スルト云フヨリ外ハアリ
マセヌ

○原委員 ソレナラバサウ致シテ置キ
マシテ、私ノ言フ點ハ、生産費ト云フ
コトハ——何時デモ暫時ト云フノモ程
度デアリマスガ、有ユル時ニ於テ生産
費ト云フコトハ此基準價格ヲキメラレ
ル所ノ一ツノ要素ニナリハシナイカ、
之ニ對シテ要素ニナルカナラヌカト云
フコトノ御答辯ヲ承レバソレデ宜シイ
ノデス

○町田國務大臣 無論重要ナル要素ニ
ナルモノデアリマス

○原委員 凡ソ法律上ノ基礎觀念デ、
一ツノ要素ガ缺ケタラ物事ハ成立シナ
イノデアリマス、其重大ナ生産費ト云
フモノ、要素ヲ缺イテ置イテ、サウシ
テ此法律ヲ制定セラレルト云フコト
ハ、根本ニ誤リガアルト思ヒマスガ、
其點ハ如何デアリマスカ

○町田國務大臣 屢ノ申上ゲマス通り
生産費、生計費ノ調査ヲ正確ニ調べル
ニハ、農林當局トシテハ、出來ルダケ急
イデ此要素ノ完備ヲ圖ル積リデアリマ
スガ、何ト申シマシテモ一昨日申上ゲ
マシタ通り其要件ハ澤山アリマシテ、
其調査ヲ正確ニスルニハ急イデモ多少
ノ時日ガ掛ル、已ムヲ得ズ其間ハ率勢

米價ト云フ一本ニ依ッテ、上ニ二割、下
ニ二割ノ間ニ依ッテ、限局サレタ範圍内
デ適當ニヤッテ行クト申スヨリ外ニ仕
方ガナイト思ヒマス

○原委員 ドウモ甚ダ遺憾デアリマス
ガ、此米穀法改正案ノ基礎ガ、基準價
格ヲ定メテ發動スル、此處ニ立脚シテ
其基準價格ヲ定メルノニ生産費ハ重大
ナ要素デアルト思フ、サウスルナラバ、
三ツナラ三ツト云フモノガ要素デア
テ、初メテ此基準價格ガキマル、サウ
シテ法律トナル、即チ其大前提ノ下ノ
小前提、即チ法ノ適用ト云フ形ニナッ
テ來ルト、重大ナ要素ノ生産費ヲ缺イテ
置イテ、サウシテ本法ガ成立スルト云
フコトハ、法律上ノ根據トシマシテ、サ
ウ云フコトハ絕對ニイケナイノデアリ
マスガ、要素ヲ省イテ置イテ、尙且ツ
本法ヲ成立セシメヨウト云フコトハ、
只今ノ率勢米價ノ不完全デアルト云フ
程度ノ問題デナイ、生産費生計費ヲ要
素デアルト仰シヤッタ以上ハ、吾々ハ此
法案ニハ根本的ニ絕對的ニ賛成スルコ
トハ出來ナイノデアリマス

○町田國務大臣 甚ダ遺憾デアリマス
ガ、私共ノ考ハ御諒解下サッタコト、
思ヒマスガ、此暫定方法トシテ附則ニ
書イテ居ルノハ、絕對的ニ御賛成出來
ナイト云フコトノ御心持モ凡ソ想像出
來マス、併シ今後續ケマスル委員會ニ

テノ物價ニ向テ大變動ヲ來スト云フガ
如キ經濟事情デアリマス場合ニ於テ
ハ、ヤハリ率勢米價ニ相當考慮ヲ致サ
ナケレバナラス、農家ノ爲ヲ計ッテ、農
家ノ生産費ニ引合ハスト云フヤウナ場
合デアリマスレバ、生産費ニ重キヲ置
クノデアリマス、例ヘテ申シマスレバ、
今後ト雖モ生産費以上ニ率勢米價ガ高
クナル場合モ想像シ得ラレルノデアリ
マス、サウ云フ場合ニハ率勢米價ヲ相
當重ク考ヘナケレバナラス、又場合ニ

依レバ米價ガ著シク低落シタト云フ場
合ニハ、經濟事情ニ依ッテ低落シタ其意
味カラ考ヘルト同時ニ、斯様ナ場合ニ
ハ生産費ヲ喰入ッテ、農家ノ爲ニ非常ニ
不利益デナイカト云フ場合ニハ生産費
ニ重キヲ置ク、時ト場合ニ依ッテ、何レ
ニ重キヲ置クト云フコトガ自ラ變化ア
ルノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマ
ス

○町田國務大臣 屢ノ申上ゲマス通り
生産費、生計費ノ調査ヲ正確ニ調べル
ニハ、農林當局トシテハ、出來ルダケ急
イデ此要素ノ完備ヲ圖ル積リデアリマ
スガ、何ト申シマシテモ一昨日申上ゲ
マシタ通り其要件ハ澤山アリマシテ、
其調査ヲ正確ニスルニハ急イデモ多少
ノ時日ガ掛ル、已ムヲ得ズ其間ハ率勢

米價ト云フ一本ニ依ッテ、上ニ二割、下
ニ二割ノ間ニ依ッテ、限局サレタ範圍内
デ適當ニヤッテ行クト申スヨリ外ニ仕
方ガナイト思ヒマス

於テ、何トカ此問題ヲ解決スルニハ、經過法ト申シテ宜シイカ、暫定的ナ方

法トシテ之ヲヤツテ、而シテ米價ノ暴騰

暴落ヲ防イデ、消費者ノ利益モ考慮シ、

生産者ノ利益モ考慮スルト云フ暫クノ

間一種ノ妥協案トシテ之ヲ御認メ下サ

ルコトヲ切望スルノ外アリマセヌ、ソ

レ以上ハドウモ意見ガ違フト申スマデ

デ、私ガ今マデ御同意ヲ願フタコトニ

付キマシテ、御諒解ヲ得ナイコトハ遺

憾デハアリマセヌ、機會アル毎ニモツ

此委員會ニ於テ御諒解ヲ得ルヤウニ努

メルヨリ外アリマセヌ

○原委員 甚ダ農林大臣ノ御苦衷ハ御

同情申上ゲルノデアリマセヌ、併シ重

大ナ法律ヲ縛ツテ、國民ノ生活其他ニ直

接影響ヲ及ボス所ノ法律、生産費ハ重

大ナ要素デアルト仰シヤッタ以上、其要

素デアル生産費ガ分ラナイデ本法ヲ制

定スル、ソナニマデ御急ギニナラナ

クトモ、生産費ト生計費ガ出來テ、其

上ニ率勢米價ト云フ三ツノモノガ備

ハツテ、法律ガ完全スルト云フ時ニナ

テ、ソレカラ本法ヲ制定セラレテモ十

分デアアル、ソレニ行カナイデ、サウシ

テ置イテ妥協案ト仰シヤイマセヌ、生

産費ヤ生計費ヤ、色々ト生産者ト消費

者トノ雙方ノ利益モ考慮スルト言ハレ

マスガ、其考慮スル根本ノ生産者ト生

産費ト云フモノガ分ラナクシテ、生産

者ノ利益ヲ考慮スル、消費者ノ利益ヲ

考慮スルト云フコトハ、ドウシテソレ

ガ言ヘルノデアリマセヌ

○町田國務大臣 ソレハ申スマデモナ

ク、今日マデ三十年ノ物價ノ趨勢ト、

米價ノ趨勢トヲ見マスト、屢、申上ゲマ

シタ通り、米價ノ趨勢ハ物價ノ平均ニ

對シテ上ニ割テ越シタコトハ珍シイ、

下ニ割テ潛リタコトモ珍シイト云フ意

味ニ於テ、此三十年間農業界モ相當ニ

進歩發達シテ來テ居ルノデアリマセヌ、

場合ニ依レバ困難シタ時モアリマセウ、

場合ニ依レバ非常ニ農家ガ喜ンダ時代

モアリマセウ、其點ニ對シテハ、生産

者モ消費者モ暫定方法トシテ率勢米價

ヲ用ユル間ハ、生産者モ消費者モ、或

點マデハ辛棒シテ貰フト云フヨリ外ニ

途ハアリマセヌ

○原委員 甚ダ遺憾デアリマセヌ、法

律構成ノ要素——生産費ガ重大ナル本

法發動ノ要素デアルト仰シヤツテ、而モ

ソレガ分ラナイト云フ以上ハ、私ハ幾

ラ農林大臣ト親子ノヤウナ關係ニア

ラシマシテモ、是ハ理論ナノデスカラ、

妥協ノ見出シヨウガ無いノデアリマ

ス、立法デアリマセヌカラ、是ハ何處カ

デ御會ヒシテ、マア待テト云フヤウナ、

御父サンガ子供ニ言ツテ聽カスヤウナ

御話デナイカラ、如何ニシテモ法律ノ

構成要素ヲ缺イタ以上ハ、理窟上御贊

成スルコトガ出來マセヌ、モウ今日モ

遅ウゴザイマセヌカラ、此程度デ大臣ニ

モ考ヘテ戴ク、吾々モ考ヘナケレバナ

リマセヌ

○東委員 ドウデスカ、大分勉強シマ

シタカラ此程度デ……

○西村委員長 兎ニ角委員會ニ付託ニ

ナリマシテ、日ニチモ經過シテ居ルノ

デスカラ、モウ少シ御辛棒願ヒタイト

思ヒマス

○石黒政府委員 原サンニ一ツ御考ヲ

願ヒタイ、自分モ考ヘルト云フコトデ

アリマセヌカラ——御考ヲ願ヒタイト思

ヒマス點ハ、要素ト云フ問題ヲ無クテ

ナラスト云フコトニ御考ヘニナツテ居

ルト思ヒマス、ソレニ基イテヤルト云

フコトデ、基礎ト云フコトヲ條文ニ使

テ置イタ、農林大臣ノ言ハレタノモ其

意味デアラウト思フ、三ツノモノガ基

礎トシテ備ハリマセヌコトハ最モ望マ

シイノデアリマセヌ、ソレガ備リマス

ルマデノ間ハ、一ツノ基礎ニ依ツテヤ

ル、斯ウ云フ建テ方ニナツテ居ルノデ

アリマス、左様御了承ヲ願ヒマス

○原委員 基礎ト言ハウガ同ジコトデ

アリマス、私ハ別ニ法律ノ言葉デ言フ

ノデハアリマセヌガ、生計費モ生産費

モ基礎デナイ、ソレニ基イタモノデナ

イト言フナラバ仕方ガナイガ、ソレガ

基礎ダ、要素ダト仰セニナツテ、其生産

費ガ分ラヌト云フコトニナレバ、ドウ

シテモ本法ハ生産費、生計費ガ出來ル

マデ止メルヨリ外理論上仕方ガナイデ

ヤナイカト考ヘマス

○石黒政府委員 基礎トシテヤルト云

フコトヲ本法ノ本文ノ中ニ於テハ三ツ

ニ書イテアル、附則ノ場合ニ於テハ一

ツヲ基礎トシテアル、斯ウ云フコトニ

立テ、居ルノデアリマス

○原委員 凡ソ法律ハ抽象ニ論理的ニ

形態ヲ整ヘナケレバナラヌノデスカ、

ソレデハ本法ノ制定ニハ生計費デア

ルカ、或ハ生産費ト云フモノヲ一切省

イテ、サウシテ率勢米價ダケヲ以テ組

ンダト云フ案ナラバ、又別ノ問題デス、

サウデナクテ、其中ニ入レテ置イテ、

暫定的ダト云フコトハ、法律ハ定マレ

バ永久的ノモノト假定シナケレバナラ

ヌ、石黒政府委員ニ御尋シマスガ、サ

ウシマスト生産費ト云フモノハ是ノ要

素デヤナイト仰セニナルノデスカ

○石黒政府委員 二ツノ調査ガ十分ニ

出來マスレバ、直グソレヲ入レタイト

云フ考ハ持ツテ居ルノデアリマス、併ナ

ガラソレガ出來マスマデノ間、暫定的

ニ一ツノモノヲ以テヤル、斯ウ云フノ

デアリマス、ハッキリサセル爲ニハ一ツ

ノモノヲ以テヤルト云フ法律ヲ出スノ

モ、ソレハ一ツノヤリ方トモ思ヒマス

ガ、併シ趣旨ハソコニアルノデハナイ、

三ツノモノヲ基礎トシテヤルノガ趣旨
デアルカラ、出來ルダケ急イデ調査ヲ
致スガ、ソレマデノ間ハ率勢米價ダケ
ヲ基礎トシテヤルト云フノデ、附則ニ
其コトヲ明ニシタ譯ナノデアリマス

スカラ、幾ラ仰シヤッテモ仕方ガアリマ
セヌ

ル必要ガアルカナイカハ別デアリマス
ガ、私ノ言フノハ今ノ三ツノコトガ本
法ノ重大ナル基礎要件ニナツテ居ル、ソ
レガ此法律ニ書イテアル、然ルニ臨時
ニ是デヤッテ行クノダカラ宜イデヤナ
イカト言ハレルガ、吾々トシテハ法律
ヲキメル一ツノ基礎問題ガ今議論ニ
ナツテ居ルノデアアル、サウ書イテアルカ
ラソレデ宜イデヤナイカト云フナラ
バ、何モ吾々立法部ノ必要ハナイ、私
ガ是レ以上質問ヲ進メルコトガ出來ナ
イト云フノハ、私ノ言フコトガ議論ノ
岐レル途ナラバ質問ノ餘裕ガアリマス
ガ、要素デアアル、是ガ本法ノ發動ノ要
素ニナツテ居ルト言ヒツ、之ヲ拔キニ
シテ置イテ、暫定的ニ率勢米價ダケデ
ヤルノダ、斯ウ云フコトヲ言フカラ、
右カ左カニ道ガ付イテ行クヤウナ見込
ガ立テバ、成程進ンデ御尋モスルガ、
併ナガラ今ノヤウニ要素デアアル、要素
デアルケレドモ今度ハ入レナイノダ、
斯ウ云フコトニナツテ來ルト、是ハドチ
ラニモ行キ様ガナイデハナイカ、其意
味デモウ是レ以上審議ヲ進メルコトガ
出來ナイ、斯ウ云フノデアリマス

外ニ所謂率勢米價トカ米價ノ趨勢値ト
云フモノヲ見出シテ、一般物價ヨリモ
一割五分トカ二割高イト云フヤウナコ
トデナクシテ、大體ノ物價指數デ行カ
ウト云フ單純ナル意見モアリマシタ、
併シソレニハ吾々ハ同意シナカッタノ
デアリマス、又相當ナ米價率ト云フモ
ノヲ見テ、ソレニ生産費、生計費ヲ加ヘ
タモノデ行クトシテモ、生産費、生計費
ト云フモノハ調査ガ困難デアルカラ、
寧ロ率勢米價一本デ此法律ヲ立テヨウ
ト云フ有力ナル議論モアッタノデアリ
マス、併シソレニモ吾々ハ同意シナカ
タ、更ニ此率勢米價ト云フモノ一ツデ
ヤル期間ヲ餘程長クシテ、本條ノ中ニ
之ヲ入レテ、生産費生計費ト云フモノ
ハ、將來調査ガ出來タ時初メテ入レル、
當分ノ間ハ率勢米價一本デアル、生産
費、生計費ノ調査ハ面倒デアルカラ、
マダ少ナクトモ十年ヤ十五年ハ率勢米
價デ行クヤウニ本文ニ書カウト云フ有
力ナル議論モアリマシタガ、ソレニモ吾
吾ハ同意シナカッタ、遂ニ出來ルナラバ
生産費生計費ノ調査ヲ成ルタケ急イデ
ヤッテ、本體ニ戻ラウ、併シ之ニハ多少
ノ日限ガ掛ルガ、而シテ此方法デ行ケ
バ大體ノ米穀法出動ノ範圍ガキマツテ、
之ニ依ツテ米價ノ暴騰暴落ヲ防グト云
フ大體ノ目安ガ附カラ、暫ク是デ行
カウト云フノデ、附則ニ於テ率勢米價

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○小池委員 關聯シタコトデスカラ原
君ニ御聞キシタイノデアリマス、第五
條ノ「米穀生産費、家計費、米價指數ノ
物價指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算
出シタル價格」、此三ツガ基礎ニナル、
所ガ此附則ニ行ツテ此三ツノモノ、規
定ニ拘ラナイデ、所謂米價指數ノ物價
指數ニ對スル割合ノ趨勢ニ依リ算出シ
タル價格、此規定デ當分ヤル、斯ウ云
フ附則ガ出來テ居ル、是ガ善イカ惡イ
カハ是ハ議論ニナルノデアリマスガ、
今原君ハモウ是レ以上質問スル所ハナ
イ、斯ウ云フヤウナ御言明ノヤウデア
リマス、サウスルトモウ質問ハナクナ
タト云フコトニナル、質問ガナクナレ
バ無論他ノ人ノ審議ヲ進メテ行カナケ
レバナラス、私ハサウ思ヒマスカラ、
念ノ爲ニ御伺シテ置キマス

○町田國務大臣 原君ニ對シテ御答デ
ハアリマセヌガ、御參考ノ爲ニ事情ヲ
申述ベタ方ガ宜カラウト思ヒマス、是
ハ東郷君モ御承知ノ事デアリマスガ、
調査會ニ於テハ物價指數一本デ行ツテ、

○原委員 議論ノ岐レル所ト仰シヤッ
テモ……ソレデハ農務局長ニ聞キマス
ガ、兎ニ角生産費ガ基礎デアルカ、基礎
デナイカト云フコトヲ御尋シテ居ルノ
デスカラ、ソレサヘ言ウテ貫ヘバ宜イ
デスカ

○石黒政府委員 基礎デアルト云フコ
トハモウ法文デ明ニナツテ居リマス、併
シソレノ調査ノ出來ルマデハ他ノ基礎
一ツヲ以テヤッテ行カウ、斯ウ云フコト
ガ附則ニ書イテアルノデアリマス

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

○西村委員長 今度ノ改正案ニチャン
トアリマス、善イ惡イハ議論ニナリマ

○原委員 幾ラ申シテモドウモ分リマ
セヌガ、肝心ノ基礎ヲ入レナイデ一時
ヤッテ行クト云フコトハドウ云フ譯デ
スカ

一本デヤルコトニシタ、是ハ暫定的ノ考デ、本法ハ此三ツノ要素ガ具ッタ時ニ始メテ完備スル、其間ハ暫ク是デ行クコトガ米價ノ暴騰暴落ヲ防ギ、消費者ノ立場ト生産者ノ立場ヲ考慮スル一種ノ調和策——ト云フテ宜シイカ、サウ云フヤウニシテ行クコトガ、達觀シテ一番宜カラウ、斯ウ云フ意味デアリマシテ、法律論デ色々仰シヤルナラバ、アナタノ御意見モ一ツノ御意見トシテ私共モ考ヘテ見マスガ、相當長イ間考慮ヲシテ、遂ニ茲ニ至ッタ事情ヲ能ク御諒察ヲ願ヒマス

○小池委員 今ノ事ニ關聯シテ、モウ一言シタイ、今ノ原君ノ御意見モ御尤モデアリマス、要素ガキマラナイデヤッテ行ケルカト云フコトモ御尤モデアリマスガ、ソレナラバ原サンノ質問ハソレデ止メテ、通告順ニ依テ審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○西村委員長 原サン、アナタモウ質問ハアリマセヌネ

○原委員 サウ云フ動議ガ出ルノデシタラ、ソレハ其點ニ止メテ置キマシテ、他ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス、農林大臣ガ今度ノ米ノ出盛期ニ於テ相當ナ調節ヲ圖リタイ、ウマク調節ショウト云フ考カラ、罹災救助基金ヲ御使用ニナル、斯ウ云フコトニ付テ農林大臣ナリ或ハ内務大臣ハ如何ナル御命令ヲ御

出シニナリマシタカ、サウ云フ命令デモ今御持合セデアリマシタラ見セテ戴キタイ

○町田國務大臣 内務大臣ガ今日ノ農村ノ困難ナル事情ニ同情シテ、罹災救助基金ノ法律ノ範圍内ニ於テ之ヲ買上ゲルコトニ内務省ノ意見ヲ一定シテ吳レタコトヲバ極メテ喜ンデ居リマス、併シ若シ此罹災基金ヲ斯様ニ運用シタコトニ付テノ委細ノ事情ハ、明日デモ内務大臣ニ此處ニ來テ貰ヒマシテ、詳シク御話シタ方ガ便利ト思ヒマス、實ハ昨日内務大臣ハ此處ニ見エル答デアリマシタガ、樞密院ノ本會議ガアル爲ニ已ムヲ得ズ出マセシタガ、明日ハ喜ンデ出テ吳レルダラウト思ヒマスカラ、内務大臣カラ答辯ヲ致シテ貰フコトニ致シマス、唯實際ノ事情ハ、先頃豫算總會デ私ガ申上ゲタ通り、内部ノ事情マデモ打解ケテ皆サンニ申上ゲテアリマスカラ、大抵御諒解下サツテ居ルコト、思ヒマス

○原委員 農林大臣カラ出サレマシタ通牒ヲ、今御持チガナケレバ明日デモ宜イガ、御示シヲ願ヒタイト思ヒマス

○町田國務大臣 府縣ニ對シテドウ云フ通牒ヲ出シタカト云フコトハ、多分内務省カラ出タト思ヒマスガ、先刻私ハ一寸言ヒ方ガ足ラナカッタカ知レマセヌガ、大體ハ罹災救助基金ヲ府縣ガ

借入レマシテ——罹災救助基金ニ損失ヲ來サヌヤウナ意味ニ於テ府縣ガ借入レマシテ、米ヲ買ッテ、サウシテ罹災救助基金ニ損害ヲ及サヌ方法ヲ執ルコトニシタサウデアリマス

○原委員 ソレカラ今一ツ御伺ヒ致シタイコトハ、此ノ間ノ大臣ノ諮問事項ノ中ニ第三トシテ「粃若ハ玄米ノ貯藏ヲ各府縣ニ對シ極力獎勵シタノデアリマス、而シテ之ガ爲ニ必要ナル資金ノ供給ニ付テハ大藏省預金部ヨリ低利資金三千萬圓程度ノ融通ニ付手續方既ニ大藏省ト打合セ濟ミデアリマス」斯ウアリマスガ、此粃或ハ玄米ノ貯藏ヲ獎勵スルト云フ所ノ、約五百萬石ノ貯藏ヲ獎勵シタイ、斯ウ云フ仰セニナツテ居リマスガ、府縣別デドウ云フ割合デサウ云フ獎勵ヲサレタノデアリマセウカ、若シサウ云フ御通知ニナツタ材料ガアツタラ、明日デモ出シテ戴キタイ

○町田國務大臣 各府縣カラ知事ガ申出テ、自分ノ縣若ハ府デハ斯様ナル數量ヲ端境期マデ調節スルト云フ、各府縣カラノ届出ガアリマス、明日早速御廻シシマスガ、要スルニ是ハ今年ノ端境期マデ主トシテ粃、粃貯藏ノ習慣ノナイ已ムヲ得ヌ所ハ玄米デヤラシテ居リマスガ、此米穀法出動ニ對スルコトニ付キマシテモ相當ノ經費ヲ要スルコトデアリマス、調節スルニハ經費ハ避

ケル譯ニハ參リマセヌ、國ノ倉庫竝ニ民間カラ借入レタ倉庫ニ堆高ク米ヲ積ンデ置ク結果トナリマスガ爲ニ、是ガ爲ニ市場ヲ壓迫スルト云フ議論モアリマス、是ハ何レノ黨派ニモ其御意見ノ方ガアルノデアリマスガ、相成ルベクハ斯ル豐年ノ際ニハ、農家モ自力ニ依ッテ價格ヲ維持スルコトノ責任ト自覺ヲ持ツガ宜シイト云フ點カラ、實ハ極力此施設ヲ唱道シ又知事ニ訓示シマシテヤラシタノデアリマス、幸ニ粃ニシテ四百六十萬石、米ニシテ約二百三十萬石、政府ガ買入レタト同ジ效果——人

ニ依ッテハ政府ガ買入レテ堆高ク積ンデ居ルヨリモ、全國ノ農家ニ少シジツ貯藏シテ置ク方ガ需給調節ニ一層效果ガアルトノコトデアリマシテ、其詳細ノ各府縣ノ割當テハ、其生産額ニ割當テタノデモアリマセヌ、又ハ縣外ニ移出スル分量ヲ割當テタノデモアリマセヌ、各府縣ノ知事ニ委シテ農會等ニ諮リマシテ、其縣々ノ事情ニ依ッテ相當數量ヲ各、ヤッタノデアリマシテ、此府縣ニ對スル割當ハ、生産額ニ一致ハ致シテ居ラヌノデアリマス、明日表ハ御廻シシマス

○石黒政府委員 今原サンノ御尋ノ分ガ此處ニアリマス、地方長官カラノ報告ノ材料——一月二十日現在デノ貯藏セントスル數量、低利資金其他ニ依リ

マシテノ數量ガ縣別ニ分ッテ居リマス
ガ讀上ゲテ宜シケレバ……

○原委員 ソレハ表ニ作ッテ戴ク方ガ
結構デス、ソレカラ私ハ保留ニナッテ居
リマス質問ヲ明日内務大臣ガ來ラレレ
バ御尋シテ、内務大臣ト大藏大臣ニ御
尋スレバ、ソレデ私ノ第一回ノ質問ハ
大體明日位デ一時止メタイト思ヒマ
ス、ソレカラ今申シマシタ法律ノ要素
ニ關スル問題ハ、ドウモ承服出來ナイ
ノデアリマスカラ、其點ハ決シテ水掛
論デハナイ、水掛論ニナラナイ論デア
リマスカラ、根據ヲ一ツ御考下スッテ、
明日御答辯願ヘレバ大變結構ト思ヒマ
ス

○町田國務大臣 私共モ努メテ御諒解
ノ得ラレルヤウナ答辯ノ仕方ヲ能ク工
夫シテ見ヨウト思ヒマス

○西村委員長 ソレデハ原サンハ内務
大臣ト大藏大臣ニ對スル質問ヲ保留爲
サッテ、後ハ全部終了シタ譯デスカ

○原委員 率勢米價ノ點ガ殘ッテ居リ
マス、ソレデ大體明日位デ、私獨占ス
ルノモイケマセヌカラ、先輩モ居ラレ
マスカラ、其位デ止メタイト思ッテ居
リマス

○東郷委員 私ノ質問ハ總理大臣ノ出
席ヲ要求シマスカラ、今日ハ此程度デ
御散會願ッテ、明日原君ガ内務大臣、大
藏大臣ニ質問ガアルサウデアリマスカ

ラ、其模様デ私ノ番ニ來レバ、私ハ最
初ニ總理大臣ニ質問致シマス、ソコデ
私ハ參考材料ノ御提出ヲ御願シタト思
ヒマス、此間私參考材料ヲ要求致シテ、

大抵ハ頂戴致シマシタガ、其中デマダ
御配付ニナラヌモノガ、農家ノ負債調、
是ハ成ベク速ニ御提出ヲ願ヒマス、ソ
レカラ新シク御願致シマスガ、本年ノ
米穀年度ニナッテ以來最近ニ至ルマデ
ノ、外米、朝鮮米、臺灣米ノ輸入額、
是ハ月別、今月ハマダ月別ハ分リマス
マイガ、出來ルダケ最近マデノモノヲ
願ヒタイ、ソレカラ前年ノ同期ニ對照
シタ増減ヲ御示願ヒタイ、ソレカラ
モウ一ツ是ハ拓務省ノ所管ト思ヒマス
ガ、朝鮮米ノ移入調節ニ對スル御施設
ガアリマスガ、アノ御施設ニ對スル色
色ノ、例ヘバ農業倉庫トカ、或ハ其他
ノ一般倉庫等ノ御計畫、是等ハ何レ私
御質問スル時分ニ御尋シマスガ、ヤハ
リ御尋ヲシタリスルノニモ便利ダト思
ヒマスカラ表ニスルト申シマスカ、若
シ書イタ物ヲ頂戴出來レバ非常ニ結構
ダト思ヒマス

○石黒政府委員 材料ノ御要求ニ對シ
テハ、當初二十四アリマシテ、大體差
上ゲタノデアリマスガ、今ノ農家ノ
負債ノ調ハ差上ゲテナイノデアリマ
ス、此農家負債ノ調査ト云フモノハ、
實ハ調査ハゴザイマセヌ、實ハ方々カ

ラ私共ノ手デ推算ヲシテ居ルノハアリ
マスケレドモ、調ト云フモノハナイノ
デアリマス、ソコデ明治四十五年デア
リマシタカ、大藏省ノ理財局ガ調査ヲ
シタ、是ハ稅務關係モゴザイマシテ、
大雜把ノ調査デス、此以外ニハ調査ト
稱スベキモノハナイ、帝國農會ニ僅カ
バカリノ金ヲ出シマシテ、調査要項ヲ
決定シテ、是デ調べルヨウニト云フコ
トデ委囑シマシタモノガアリマスガ、
是ハ部分的ノ細カイ、或ル意味ニ於ケ
ル一地方ニ於ケル實狀調査デアリマシ
テ、全國ノ農村ノ負債調査ト云フモノ
ハナイノデアリマス、隨テソレハ上ゲ
ラレナカッタヤウナ次第デアリマス、私
共ガドウ見當ヲ付ケテ居ルカト云フコ
トノ御尋デゴザイマスレバ、ソレニ對
スル見當ハ斯ウ云フ風ナ點カラ斯ナ
風ニ見テ居リマスと云フコトヲ御答ス
マセヌデシタ、サウ云フ程度デ宜シケ
レバ、サウ云フ程度ヲ文字ニ書キマシ
テ差上ゲルコトニ致シマス

○東郷委員 此大切ナ御調査ガ農林省
ニナイコトハ甚ダ遺憾ニ存ジマスガ、
何レ私質問ノ途中デサウ云フ問題ニ觸
レル積リデアリマスカラ、其場合ニ更
ニ改メテ御尋致シマス、併シ只今ノオ
話ノヤウニ御書キ下サッテモ參考ニナ
ラウト思ヒマスカラ出來レバ其前ニ御

示シヲ願ヒマス
○石黒政府委員 非常ニ大切ナ調デア
リマスガ、ドウモ是ハ東郷サンノ御常
識デモ御分リニナルコトデ、農林省ガ
之ヲヤッテ居ラナイノガ手拔リダト仰
シヤレルト甚ダ私共立ッ瀨ガナイノデ
アリマス、斯ウ云フモノハ農林省ガ今
マデノ間ニ調べルト云フコトガ殆ド不
可能ダト云フコトハ、苟モ農政ノ方ノ
御専門ノ東郷サンカラソレヲ仰シヤラ
レルト、ドウモ私共ハ甚ダ困ルノデア
リマス、私共ハ知リタイコトハモウ決
シテ東郷サンニ劣ラナイケレドモ、之
ヲ得ルコトハ非常ニ困難ナ事デアッテ、
又金ヲ非常ニ要スル、金ヲ掛ケテモ出
來ルカ出來ナイカ分ラヌノデアリマ
ス、ソコデドウモ其意味ノ調査ト云フ
コトニナルト、是ハ只今ナイト云フコ
トノミナラズ、將來モ非常ニ困難ナ事
ダラウト思ヒマス、ドウゾ其點ハ餘リ
御責メ下サラナイデ、私共ノ見當位デ
以テ御満足下サルナラバ、書イテ出シ
マスガ、如何ナモノデゴザイマセウカ、
若シ簡易ニシテ調べルコトガ出來レ
バ、強ヒテ此處デトハ申シマセヌガ、
御示教ヲ願ヒマス

○東郷委員 參考資料トシテ責任ヲ以
テ御出シガ願ヘナイノナラソレデモ宜
イノデアリマスガ、何レ私質問申上ゲ
ル機會ガアラウト思ヒマスカラ、其時

ニ私達ノ頭ニ能ク入ルヤウニ御準備置
キヲ願ヒマス、御口デ御話下サルヨリ、
何カ書イタ物ダト、御互質問應答スル
ノニモ簡單ニ行クダラウト思ヒマス、
私ハ農林省ト申シマスカ、日本ノ政府
ニ斯ウ云フモノ、調査ノナイコトハ甚
ダ遺憾ニ思フ、デスカラ無イノナラ仕
方ガナイカラ、ドウカーツ其意味ニ於
テ御準備ヲ願ヒマス

○西村委員長 ソレデハ本日ハ是デ散
會シマシテ、明日ハ午前十時ヨリ開會
致シマス

午後五時二十四分散會

昭和六年二月十九日印刷

昭和六年二月二十日發行

衆議院事務局

印刷者

常磐印刷株式會社